

埼玉放射線

vol.58

# RADIOLOGICAL SAITAMA

2010  
No.1



**総会・学術大会特集号**

社団法人 埼玉県放射線技師会

<http://www.sart.jp>  
E-mail [sart@beige.ocn.ne.jp](mailto:sart@beige.ocn.ne.jp)

表紙の解説

鏡餅と橙 ～慶びを積み重ね～

# 新年明けまして おめでとうございます

会員の皆様には、希望に満ちた平成22年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素は、本会の運営に際しまして格別なご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

本年も、公益法人の精神と職能団体の役割を果たすために、会員の皆さんと生き抜く決意を内外に宣言し、新年の挨拶とさせていただきます。



会長	小川 清		
副会長	堀江 好一		
副会長	橋本 里見		
常任理事 (総務)	田中 宏	理事 (第1地区)	八木沢英樹
常任理事 (総務)	矢部 智	理事 (第2地区)	肥沼 武司
常任理事 (財務)	結城 朋子	理事 (第3地区)	澁市 直紀
常任理事 (編集・情報)	松田 恵雄	理事 (第4地区)	長谷川英治
常任理事 (学術)	富田 博信	理事 (第5地区)	矢崎 一郎
常任理事 (公益)	中村 正之	理事 (第6地区)	石川 直哉
理事 (学術)	尾形 智幸		
理事 (学術)	西山 史朗		
理事 (学術)	小林 剛	監事	山本 英明
理事 (編集・情報)	潮田 陽一	監事	鈴木 正人
理事 (公益)	星野 弘	顧問	和田 幸人

# RADIOLOGICAL SAITAMA

2010/1  
JANUARY  
VOL.58

CONTENTS

## 総会資料・学術大会

### 第25回 社団法人埼玉県放射線技師会 総会

平成22年度事業計画(案)	18
平成21年度補正予算(案)	20
平成22年度当初予算(案)	21
平成22年度 一般会計予算の概要について	22

### 第25回 埼玉放射線学術大会

テーマ

「医用画像最前線～明日の健康のために～」

第25回 埼玉放射線学術大会	24
第25回 埼玉放射線学術大会会場案内図	25
第25回 埼玉放射線学術大会プログラム	26
県民公開講座	26
第25回 埼玉放射線学術大会へ参加される会員の皆様へ	27
参加登録手続きについて	27
演題発表要綱	28
■レクチャーコース	31
■ハンズオンセミナー	32
■ランチョンセミナー	33
■テクニカルディスカッション	34
■一般演題目次	35
CT	
MR・管理	
RI	
MMG・一般	
一般	
一般演題抄録	
セッションI～V	38

## 巻頭言

### 展望

社団法人埼玉県放射線技師会 副会長 堀江 好	1
---------------------------	---

## 会告

第25回 社団法人埼玉県放射線技師会 総会の開催	2
第25回埼玉放射線学術大会の開催について	3
第1回CT認定講習会	4
第1回救急セミナー	5

## お知らせ

第2地区会市民公開講座	6
第25回 埼玉放射線学術大会 県民公開講座	7
メールマガジン配信登録・エラーアドレス削除のご案内	8
これで安心!X線診療室の漏洩放射線	9

## 新春対談

平成22年 新春対談	
中澤 靖夫 東京都放射線技師会会長	
小川 清 埼玉県放射線技師会会長	10

## 各地区揭示板

第1地区	46
第2地区	47
第3地区	54
第4地区	56
第5地区	57
第6地区	58

## 本会の動き

公衆衛生事業功労賞を受賞して 元東京女子医大第二病院(現東医療センター) 瀬尾 登吾	60
公衆衛生事業功労賞を受賞するに当たって 元石心会狭山病院 松元 和敏	61
平成21年度胸部、上部消化管認定講習会報告	62
第1回放射線治療講習会報告	63

## 自由投稿

みんなのカブリッチョ	
バブルをしらない若者たち	64
ことわざ全集その7・その8	
必要なムダ	66
後悔先に立て	66
SARTランニングクラブ 上尾シティマラソン参戦!! 東京放射線クリニック 西山 史朗	67

## 議事録

平成21年度 第4回理事会議事録(抄)	68
---------------------	----

## 会員の動向

会員の動向(平成21年11月30日現在)	80
----------------------	----

## 役員名簿

平成21,22年度役員名簿	82
---------------	----

投稿規定	85
年間スケジュール	86
FAX申込書	87
編集後記	

## 展 望

社団法人埼玉県放射線技師会  
副会長 堀江好一



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また、日ごろより当会に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新年といえば、人は誰しも何かしら明るい希望を持ちたくなるものだ。今年一年が良い年になるように、身の回りに悪いことが起こらないように神頼みもしたくなる。そんな時だからこそ巻頭言に暗い話題はふさわしくないと思い、何か良いことはないかと今年を展望してみたい。

ところで、昨年重大ニュース。私にとっての一番は、マイケル・ジャクソンさんがロンドン公演を目前にして死去されたことだった。またその後、公演のリハーサル風景や舞台裏を映画化した「THIS IS IT」は、涙なくしては見られない感動作品であり、私にとって、生まれて初めて劇場で2回見た映画となった。

私事はさておき、昨年起きた明るい出来事のひとつとして、日本放射線技師会の北村会長が中央社会保険医療協議会（中医協）の専門委員に任命されたことを挙げたい。ご存じの方が多いと思うが、この協議会は診療報酬の具体的な点数付けを行う機関のため、委員の影響力が非常に大きいと言われている。保険の支払側委員、診療側委員、公益を代表する委員を合わせた20名の「委員」と、専門の事項を審議するための「専門委員」で構成されている。昨年10月に委員の改選が行われ、北村日放技会長は放射線技師の代表としてではなく、昨年9月に発足した「チーム医療推進協

議会<sup>\*1</sup>代表」即ち、コメディカルの代表として選任されたい。

これは本当に喜ばしいことで、このような会議において発言できることはコメディカルにとって大きな一歩だと思う。

それに対して、委員の推薦3枠を失った日本医師会では執行部への責任追及の声が上がったほどであることから、中医協委員の影響力が伺い知れる。

政権交代の影響は医療界にも確実に波及してきている。民主党連立政権が良いか悪いかという問題は別としても、従来の、官僚、政治家、特定の団体の力に支配されてきた医療行政が少し変わり始めたのではないだろうか。利益を力で奪い取るのではなく、より国民の役に立つ人や団体が大切にされる。そういう世の中になって欲しいものだ。大不況の中、医療費の政府負担額が大幅に増額されるとは思えないが、開業医優遇と言わざるを得ない現在の医療費の配分を、少しでも国民目線では正していただけるよう中医協の委員の方々に期待し、今年の診療報酬改定に注目したい。

そして我々は、チーム医療の中で他職種から、何より患者さんから必要とされるためには何をすれば良いのか、何が足りないのか、我々自身の事業仕分けをあらためて考えよう。

### ※1 チーム医療推進協議会

平成21年9月に日放技北村会長を代表として発足した、医療職種13団体と患者会で結成した協議会。

この協議会の立ち上げには、埼放技が日放技に紹介した医療ジャーナリストが深く関与しているはず。

## 第25回 社団法人埼玉県放射線技師会 総会の開催

社団法人 埼玉県放射線技師会  
会長 小川 清

日 時：平成22年 3月14日（日） 午前11時20分～12時20分  
会 場：大宮ソニックシティ 4F 市民ホール  
住 所：埼玉県大宮区桜木町1-7-5  
電 話：048-647-4111  
内 容：第25回 社団法人 埼玉県放射線技師会総会（予算）

### 総会次第

#### 開 会 の 辞

会 長 挨 拶

来 賓 挨 拶

総会運営委員会報告

議 長 選 出

総 会 職 員 任 命

#### 議 事

- 1.平成22年度事業計画案
- 2.平成22年度予算案
- 3.その他

#### 閉 会 の 辞

### 総会運営委員

第一地区選出	埼玉社会保険病院	太田 良平
第二地区選出	所沢ハートセンター	柴 俊幸
第三地区選出	埼玉医科大学国際医療センター	星野 孝之
第四地区選出	深谷赤十字病院	斉藤 幸夫
第五地区選出	済生会栗橋総合病院	鈴木 孝
第六地区選出	指扇病院	榎本 雅彦

## 第25回埼玉放射線学術大会の開催について

(社)埼玉県放射線技師会

会長 小川 清

平成21年度、第25回埼玉放射線学術大会の日程が決定致しました。

今大会は、昨年度まで開催していた伊奈の県民活動総合センターから大宮ソニックシティへ会場を移し、よりアクセスし易く、また新たな企画も多数用意してお待ちしております。

学術大会は埼玉県放射線技師会における最大のイベントであり、多数の会員にご出席頂きたいと考えております。公私共々お忙しいと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

### 記

- 日 時 : 平成22年3月14日 (日)
- 会 場 : 大宮ソニックシティ  
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
- 内 容 : 会員研究発表、学生研究発表、県民公開講座、  
読影コーナー、賛助会員機器展示コーナー他  
昨年同様、MMG、上部消化管、US、CTの読影コーナーを設ける予定です。  
その他企画は順次埼玉県放射線技師会Webサイトにアップ致しますので  
ご期待下さい。
- 問 い 合 せ : (社)埼玉県放射線技師会学術委員長 富田博信  
TEL 048-253-1551 (埼玉県済生会川口総合病院)

## 第1回CT認定講習会

(社)埼玉県放射線技師会  
 学術委員会

埼玉県放射線技師会で行っている認定技師制度は平成11年に胸部、上部消化管、乳腺の3部門でスタートしました。その後、乳腺は全国統一認定に移行し、2部門で継続して参りましたが、今年度からはそれらにCTを加え、胸部、上部消化管、CTの3部門で認定を行うことになりました。

新たに立ち上げた認定講習会となります。多くの会員の皆様にご参加いただき、本認定制度を埼玉県内で実りあるものになりたいと思います。皆さま、奮ってのお申し込みをお願いいたします。

---

### プログラム (敬称略)

---

平成22年1月31日 (日)

8:45~9:00 受付

9:00~12:00 物理特性講義+実習Ⅲ (TDCファントム体験)

講義: 3DCT造影法概論 株式会社根元杏林堂 弓場孝治

13:00~13:45 造影剤概論

第一三共株式会社 手塚一明

14:00~15:00 造影技術概論特別講演

長野赤十字病院 八町 淳

15:10~17:10 認定試験 筆記試験 読影試験

※JART CTセミナー 1月17日に開催予定詳細はJART会誌、HPを参考にお願いします。

---

### 記

---

場 所: 埼玉県済生会川口総合病院 3F 第一会議室

住 所: 埼玉県川口市西川口5-12-1

T E L : 048-253-1551

受 講 料: 埼玉放技会員 2,000円

非会員 3,000円

定 員: 30名程度

申込方法: 会誌綴込みの「セミナー申込書」を用いて、FAXにてお申してください。

非会員、県外申し込みは直接下記担当へ電子メールにてご連絡ください。

富田博信 h-tomita@sart.jp

締め切り: 定員に達した時点で申込を締め切ります。最新の情報はホームページをご確認ください。

入金方法: 原則として口座振り込みとします。申し込み用紙をFAXした後、振り込みをお願いいたします。なお、

全課程受講者で当日支払いの場合は、手数料として500円いただきます。

振 込 先: 埼玉りそな銀行宮原支店 口座名: (社)埼玉県放射線技師会口座番号: 3574315

連 絡 先: (社)埼玉県放射線技師会 TEL 048-664-2728 FAX 048-664-2733

問 い 合 せ: 埼玉県済生会川口総合病院 富田博信 TEL 048-253-1551

---

## 第1回救急セミナー 救急医療における放射線技師の役割

(社)埼玉県放射線技師会  
学術委員会

(社)埼玉県放射線技師会では新しく救急セミナーを企画いたしました。第1回は救急医療—入門編—として、救急や一人で当直に入り、色々不安や悩みを持っている方が、安心して検査を行う事が出来るために必要な知識を学んでいただく内容となっております。また質問の時間も長めに取っておりますので、日頃悩んでいることがありましたら、ご質問してください、多数のご参加をお待ちしています。

### プログラム (敬称略)

- 12:30～ 受付
- 13:00～14:30 救急に必要な知識 (仮) 埼玉医科大学総合医療センター 准教授 輿水 健治
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～15:40 当院の救急医療と当直 (1) 埼玉県立小児医療センター 横山 寛  
 当院の救急医療と当直 (2) 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳  
 当院の救急医療と当直 (3) さいたま赤十字病院 岡田 智子
- 15:40～16:00 質疑応答

### 記

- 日 時：平成22年2月14日 (日) 12:30受付開始
- 場 所：さいたま赤十字病院 5F講堂
- 住 所：〒338-8553さいたま市中央区上落合8-3-33
- T e l：048-852-1111
- 受 講 料：500円
- 定 員：なし
- 連 絡 先：(社)埼玉県放射線技師会 Tel 048-664-2728 FAX 048-664-2733
- 問 合 せ：アジュール竹芝総合健診センター 塚田 高志 Tel 03-3437-2701

第8回 主催：(社)埼玉県放射線技師会 第二地区会

# 股関節

～痛みの予防 もし骨折したら～

日時：平成22年1月24日（日曜日）

開演 14：30（開場14:00）

会場：所沢ミュージック キューブホール（小ホール）  
所沢市並木1-9-1

参加：無料 予約不要です。

講演内容 1講演（15～30分）敬称略

- ① 診療放射線技師について
- ② 股関節症の検査について  
～先天性股関節脱臼の予防も含めて～  
豊岡第一病院 診療放射線技師 佐々木拓哉
- ③ 理学療法～家庭でできる理学療法～  
国立障害者リハビリテーションセンター 病院  
理学療法士 岩崎洋
- ④ カルシウムと骨について  
国立障害者リハビリテーションセンター  
管理栄養士 繁田文子
- ⑤ 治療について ～人工関節置換術ほか～  
国立病院機構 西埼玉中央病院  
整形外科医師 北里精一郎

骨密度計測コーナーを設けます  
当日整理券を配布いたします。

後援：所沢市 所沢医師会

問い合わせ：国立リハビリ 放射線 肥沼 04-2995-3100(内線3016)

市民公開講座

県民公開講座

第25回埼玉放射線学術大会

骨粗鬆症について  
～骨粗鬆症と予防～



講師：吉岡 鑑二氏 (東洋メディック株式会社)

入場無料 お気軽にお越し下さい!

\*骨密度の無料測定も行います。

日時：平成22年3月14日(日)

第1回 10:30～10:50

第2回 11:30～11:50

第3回 13:30～13:50



会場：大宮ソニックシティ市民ホール404  
〒330-8669埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
財団法人 埼玉県産業文化センター 048-647-4111



当日は医療ひばく相談も受け付けます。  
お気軽にご相談下さい。



主催 社団法人 埼玉県放射線技師会  
問い合わせ先 TEL 048-664-2728 (9:00～15:00)

## メールマガジン配信登録・エラーアドレス削除のご案内

社団法人 埼玉県放射線技師会

会長 小川 清

現在、埼玉県放射線技師会では、会員や会員が勤務する施設の運用に活用していただく目的で、数多くの情報を提供・発信しております。

例えば、厚生労働省から発信され、日本放射線技師会を經由し本会へ届いた情報や、本会からのお知らせ等がそれにあたります。

これらを年6回発刊の会誌やホームページを用いて、可能な限り速やかに提供しよう心がけておりますが、医療政策における展開の速さを鑑みると、会員からの閲覧がないと情報が伝わらないという媒体の性質上、リアルタイムに十分な機能を果たせているとは言えません。

そこで、会員の皆様には、技師会からの情報を「的確なタイミングで確実に」受け取る手段として、メールマガジンへの配信にご登録いただければと考えております。

メールマガジン配信登録方法は下記の通りとなっています。皆様のご登録をお待ちしております。

### ■個人情報の利用に関するお知らせ

ここで入力いただく利用者の個人情報（メールアドレス）は、メールマガジンの配信を目的として利用し、他の目的では利用いたしません。

### ■メールマガジン配信登録

登録方法は2通りあります。

#### ①ホームページ上からの申し込み。

[その他] のカテゴリから [メールマガジン購読希望] へアクセス。  
必要事項をご記入下さい。

#### ②メールによる申し込み。

申し込み用メールアドレスに以下の内容を記入して送信下さい。

申し込み用アドレス：magazine_since2007@sart.jp 件名：メールマガジン申し込み 本文：(氏名) (受信希望先のメールアドレス)
--

※申し込み後自動返信にて確認メールが届きます。

### ■メールマガジンの停止・変更・質問等について

マガジンの停止・変更・質問等は以下のアドレス宛にご連絡下さい。

変更削除用アドレス：mail\_magazine2007@sart.jp

※申し込み用のアドレスと異なりますのでご注意下さい。

### ■メールアドレス削除

現在、配信エラーとなるメールアドレスが若干数あります。サーバーの有効活用のため今後、各エラーメールアドレスに対し削除予定のメールを送信いたします。応答がない場合は、対象メールアドレスを削除いたしますのでご了承下さい。

# これで安心！ X線診療室の漏洩放射線

放射線障害が発生するおそれのある場所の測定は、法律により一定期間ごとの測定と記録の保存が義務付けられております。

ご自身の勤務する施設の実施状況は万全ですか？

本会では、公益事業の一環としてX線診療室測定業務の代行を行っております。

今まで、忙しくて自分で測定することが難しい、また、測定器がないという施設がありましたら、一度ご相談下さい。

本会が責任を持ってお手伝いさせていただきます。

**\*医療法施行規則第30条22\***

病院または診療所の管理者は、放射線障害が発生するおそれのある場所について、診療を開始する前に1回及び診療を開始した後には1月を越えない期間ごとに1回（X線診療室にあつては6月を越えない期間ごとに1回）放射線の量を測定し、その結果に関する記録を5年間保存しなければならない。

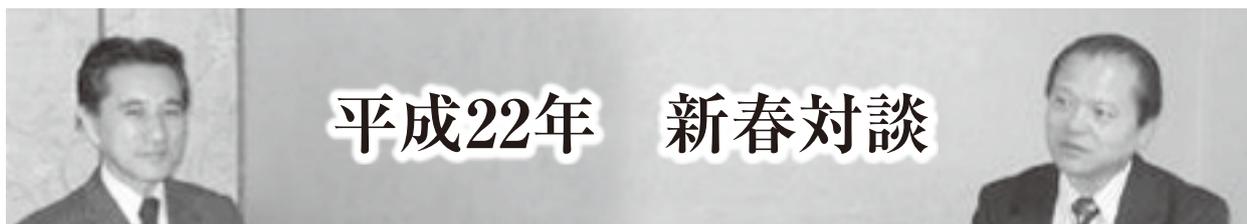
## 測定委託に関する費用は以下の通りです。

- ①基本料金（出張費、書類作成費用等） 50,000円  
     会員の施設特別料金 20,000円
- ②測定料金
 

X線診療室	1室（1管）	10,000円
	1管増す毎に	5,000円
- ③お申し込み・問い合わせ  
 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39  
 社団法人 埼玉県放射線技師会 公益事業部  
 電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

## これまでに受託した施設

川越病院	(川越市)	飯能中央病院	(飯能市)
さいたま市保健センター	(さいたま市)	久喜すずのき病院	(久喜市)
後谷診療所	(八潮市)	さいたま市中央区役所保健センター	(さいたま市)
関東脳神経外科病院	(熊谷市)	大宮すずのきクリニック	(さいたま市)
吉川病院	(所沢市)	さいたま市ひまわり学園	(さいたま市)
野田病院	(川越市)	浦和すずのきクリニック	(さいたま市)
国立障害者リハビリテーションセンター	(所沢市)	中村外科	(川越市)
鈴木医院	(加須市)	福音診療所	(北本市)
毛利整形外科	(上尾市)	南福音診療所	(北本市)
斉藤クリニック	(蕨市)	志木市立救急市民病院	(志木市)



## 平成22年 新春対談

中澤靖夫 東京都放射線技師会会長（以下、中澤）：新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年は衆議院選挙がございまして、民主党が圧勝しました。民主党、社民党、国民新党による連立政権が9月16日に発足しました。50年以上続いた自民党の官僚政治の在り方が抜本的に見直されています。少し内閣の動きを見てみますと、行政刷新会議における無駄を省く事業の仕分け作業というのが行われました。今までは市政レベルで行われておりましたけれども、最近国政レベルで行われているということで、大きな変革作業であると思っております。また、昨年来厚生労働省の動きを見てみますと、長妻厚生労働大臣はいわゆる中医協の委員の人事で、自民政権下では日本医師会推薦を受けた3名の代表を委員として認めていた人事を今回は独自に、例えば茨城県医師会の役員とか、京都府医師会の役員だとか、山形大学医学部の方から選ぶということを行っています。また、専門委員会のメンバーですが、今まで長いあいだ医師、歯科医師、薬剤師、看護師の4職種以外はポストが無かったわけですが、新たに日本放射線技師会（以下、日放技）の会長が就任するというところで、われわれにとって大変いいことがあったわけでありまして。そのような情勢の動きの中で今年も両技師会がいろいろなことをやっていかななくてはならない環境かな、と思っております。小川会長としても平成22年度新春を迎えられて、いろいろな抱負を持っておられると思っておりますけれども、その辺のお話をさせていただければ、と思っております。

小川清 埼玉県放射線技師会会長（以下、小

川）：法人組織の運営がなかなか難しくなっています。つまり、少子高齢化で社会全体が萎んでいくときに、組織自体も思ったほど会員数が伸びてこない。会員数が減ってきますと事業予算も減ってきます。しかし、われわれの業務である医療、特に命を預かる職種として常に技術を向上させ、医療に貢献していかなければなりません。そういう意味では、いろいろな教育や研修にはお金やエネルギーを十分にかけて会員の資質向上に向かわなくてはならないと常に思っております。

中澤 日本社会がどこの国よりも速いスピードで後期高齢社会に突入しました。また、年々出生率が低下する少子化社会にも突入しました。この二つの問題は国家財政がひっ迫する中では大きな狭間の戦いがあるのではないかと思います。少子高齢化の対策として、出生率の向上に向けた子育て支援が必要です。かといってそちらのほうにお金をかけると後期高齢者に対する医療の制度とか非常に厳しくなる。こういう厳しい経済環境の中で私達は技師会を運営して行かなくてはなりません。両会とも経済という視点では、共通の課題も抱えているのかなと、思います。

次に埼玉県放射線技師会（以下、埼放技）の定款に基づく大きな事業をご紹介しますと



います。

小川 私が埼放技を預からせていただいて今年で3期6年目になります。そして基本方針は常に1) improvement (改善) と diversity (多様性)、2) complete lifelong education (生涯教育の充実)、3) study and investigation (研究と調査)、4) cooperation (連携から) collaboration (共同)、この4つの基本的な方針に基づき事業計画を作り、そのなかで学術、編集・情報、公益事業などを、総務、財務を絡めて集中的に実行してきました。そして今後も積極的に実行していくつもりです。そのなかで若い技師や新人技師に埼放技へ入会していただき、勉強会、研修会に参加してもらうことを常に考えております。その1つの手段としましては、今年で12回目を迎えるSARTセミナーがあります。このセミナーは私が副会長時代に始めたのですが、新卒の方を中心に集まっていただき、「技師会とはどういう組織なのか」「技師会に入るとどんな楽しいことがあるか」「診療放射線技師の仕事をしていく上でなぜ技師会に入ったほうがいいのか」、「研究会とか認定技師について」などを埼放技理事が講師となりやさしく語りかけ「技師会ってこんなよいところだよ」という印象をあげさせます。そしてこのセミナーの参加料は無料、かつ、お茶も昼食も用意してサービスします。一方では若い方たちは技術・技能を欲しがっていますので右脳で考える簡単一般撮影法だとか、胸部撮影、読影のポイントと基礎、加えて「患者さんに優しい診療放射線技師」という接遇的なことも加えて、新人の方が差し迫って必要な技術・技能を、理事とか周辺の方たちに講師になって講義します。最後にはテーマを与えてグループ討論も行っております。セミナー受講後、必ずしも入会してもらえないわけではないというのはありますが、技師会のほうに少しは目を向けてもらえるかなと。それを一番大きな力としています。

中澤 無料の研修、お昼も出すSARTセミナー、

それは素晴らしい発想ですね。毎年何人くらい参加されますか。

小川 40~50人くらいです。そして新入会促進策として新人の1年目の会費は無料としており、会誌等を読んで、研修会に参加して印象がよければ継続してもらいます。



中澤 東京都放射線技師会（以下、東放技）の新入会者は新卒・既卒を問わず入会金なし、年会費5,000円、研修参加費を1年間無料で行っています。

小川 技師会についてまったく興味を示さない放射線技師は仕方ないにしても一度、特に最初に技師会に関わってもらいたいということが大事だと思います。例えば、職場の中であまり背中を押してくれない技師長さんだとすると、技師会というものを知らないまま終わってしまうのではないかと思うのですよ。皆が入っていれば、当たり前なものだと思ってくれるのですけど…。

中澤 新しく新人がどこの病院に入った、とかいうことは調査されているのですか？

小川 昔は学校からそういった連絡がありました。今は個人情報保護法があるため難しいですね。技師長のネットワークを使っていますが、やはり100%把握するという訳にはいきません。自分のところで当然「新人教育はするけれども、技師会の新人研修会にも行ってきなさい」と言って送り出してくださる技師長さんも結構いらっしゃるのです。

## 教育について

**中澤** 埼玉県の中には技師長のネットワークというものができているのですか？

**小川** いや施設宛のFAX連絡網はありますが、技師長個人宛のネットワークはありませんのでこれから作り上げていきます。今、考えているのは管理職の研修会です。機器管理、線量管理、マネジメント、リスク、人材育成などいろいろあります。例えば技師長クラス、課長クラス、主任クラスといった職制に応じた研修会のプログラムを指導者のもとに作成予定しております。この種のセミナーは現在、単発では行っているのですが、それをシリーズ化して次世代のリーダーを育成する、そういった研修会を考えています。

**中澤** 技師長、課長、主任クラスの階層別の研修会は非常に大切だと思います。

**小川** やはり医療は人ですから、どういうふうに関わり合うとか、どう育てるとかといったことをきちんと勉強しなければ、自分自身の知識を高めて満足するのみではなく、得られた知識をいかに人に伝えていくかということを考えることはリーダーとして大切なことです。そういったことを勉強するチャンスを作ってあげたいと思います。

**中澤** そういったことも技師会の大きな役割だと思います。看護協会さんはファーストレベル、セカンドレベル、サードレベルなどを企画して管理職の養成を行っていますよね。そういう意味で、技術のスキルアップのための研修会も大事ですが、管理者としての育成を階層別に行っていく研修会も非常に重要ですね。

**小川** これは日放技のような全国区だとなかなか難しいかもしれません。地方で密着した中でやっていければと思います。

**中澤** 病院のなかでの技術部長・技師長クラスの役割というのは大変大きいと思います。放射線技師のブランドを背負って病院の組織の長としての

役割を担っていますから、やはり病院の会議では積極的に発言するという姿が必要ですね。その姿を後ろから支援している技師会組織、あるいはシンクタンクとしての知識や知恵を、その技術部長・技師長が学んで活用されるといいですね。

**小川** そうすれば放射線技師が病院に貢献しているという、はっきりしたのを見てくると思います。いろんな人がいると目標が見えてきますし、ネットワークができてきますから。

**中澤** 日本医療評価機構というものが結成され、今年で15年になりますが、現在認定されている病院は2567施設ということで病院全体の約29%です。ということは、日本医療評価機構version 6の第1領域の中に職員の教育研修をしっかりとやらせよということが求められていますが、まだまだ約29%の病院でしか行われていないのかな、という気がしますね。

**小川** 上からではなく、自分たちで教えあうという環境、みんなで勉強しようという雰囲気を病院に作らないと。放射線技師はその先頭に立たないといけません。

**中澤** 平成11年1月11日、ある大学病院で患者取り違えによる医療事故が起こり、それ以来、患者さんの目線も非常に厳しくなりました。また、我々医療界における医師とコメディカルの見方も大きく変わってきました。今までは医師を中心とするパターンリズムでしたが、医療事故をきっかけに国民の目線も変わったし、各専門職種どうしの目線も変わって、ある意味、本当のチーム医療をやりましょよ、という雰囲気になってきたのではないかと考えています。

**小川** そういう状況の中で、職場によって構成人数も違いますし、規模も違いますから、お互いに職場で自分が加わって作り上げていくという意識が大切ですね。

**中澤** 施設の中での人事考課基準というものがあがる程度ルール化されてきて、同じ評価シートで放射線技師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士

等のコメディカルスタッフも同じように評価しようという流れもありますね。埼玉県ではどうですか。

小川 民間のほうですすんでいるかもしれませんね。

中澤 私が所属する施設でもちょうど改革が始まりまして、コメディカルは同じような評価シートで評価しようということですし、昇任時も面接試験や課題試験をやるということで進めています。

小川 今までの反省も含めまして積極的に関わっていくということが大切ですよ。

中澤 そういった職場管理者の要望に各県の技師会が支援できるような研修会、あるいは引き上げるような研修会が開催されると職場と技師会が繋がってくるような感じがしますね。

小川 研修会に出たからどうだということではなく、同じような悩みだとか方向を向いて職場と技師会が上手くやっていければ、と思っています。若い人たちはやはり技術を求めます。目の前に患者がいて装置が使えないと困るので、それはそれで必要なことです。ただ、ある年代になれば人を束ねたり、引っ張ったり、叱咤激励することも必要なので、そういう勉強もしていく環境をつくっていかなくてはと思います。



### 技師会の活動について

中澤 東放技はスローガンを決めておりまして、今年は昨年と同じように1つ目はメディカルコン

プライアンスの推進ということ、2つ目は地球環境保全活動の推進、3つ目は認定技師、専門技師の育成ということを掲げまして活動を行っております。メディカルコンプライアンスの事業としましては、本会のほうで直接何かを開催するというのではなく、そういう関連の資料がありましたら会誌等を通じて紹介していくという形が多いと思います。2番目の地球環境保全ですが、私どもの第5地区が荒川河川敷清掃活動やアルピニストの野口 健さんが代表を務めるNPO法人富士山クラブの仲間達と富士山の清掃活動を行ったりしています。これは地球環境の保全が医療環境の保全にも繋がっていくとの視点です。食物連鎖というものがあります。土壌の汚染が食物を通じて人間の体に入って病気になるということもありますので、やはり地球環境の保全というのは医療環境の保全に繋がっていくのだろうという視点でそういった活動を行っております。3つ目の専門技師、認定技師ですが、これはいろんなところで行われておりますけれども、東放技はマンモグラフィの認定技師の講習会ということで結核予防会と連携しまして、毎年1回3日間の研修を行っております。また、MRIの専門技師、これは技術学会と関連団体の認定試験ですが、これも1日使いまして講習会を行っております。また平成19年4月から医療法が変わりまして医療機器安全管理責任者が義務化されておりますので、それに関係する講習会を1.5日かけまして行っております。新人に関するものとしては、東放技が行う研修会、講習会等は1年間無料で参加できるという特典を与えております。埼放技では認定講習会などを行っていますか。

小川 前会長の時代から始まったものですが、一部の病院では放射線技師がレポートを書くという非常に画期的なことが行われてきました。それがバックボーンになりまして、それを埼玉県中に広げていこうかということになりました。マンモグラフィ然り、胸部撮影然り、消化管然り。会員か

らすると認定を取れば認められているという目標になるのですよね。取ったから業務がどうだ、というわけではないのですが、勉強する目標になります。

**中澤** 特に埼放技の場合、特徴的なのは胸部撮影の認定技師を育成していますね。どれくらいの研修期間なのですか。

**小川** 以前は土日開催の2日間でしたが、昨年度から業務終了後の平日と土日に行く日程に変更しました。日曜日は医師の講演と模型作りに、そして認定試験になります。

**中澤** 会誌を見て、非常にオリジナリティがあって素晴らしいことをやっておられるな、と思っていました。

**小川** 単なる講習会ではつまらないので、持ち帰って役に立つものを行っています。目標をつくるというのは非常によいことですよ。

**中澤** 私が前会長をやっておりました循環器画像技術研究会では循環器のcoronaryや腹部血管の模型を作るという講習会を開催したことがあります。研究会レベルでやっておりましたけども、技師会の講習会でやられるというのは基礎的なことで興味がありますね

**小川** 座学的に講師の講義を聞くというだけではなく、実際に自分でやってみることが必要です。認定技師は各学会や職能団体が作られ、多くの認定技師が登場しておりますが、本当に長続きするか疑問に感じております。私は、この認定技師を放射線管理、放射線機器管理、そしてADセミナー関連科目も加えてもよいかもしれませんが、より多くの会員が取得する認定技師と、もう一つは指導者育成コースのような取得が大変だけれど、でも希少価値がある認定技師の2つに分けるべきと考えております。また放射線技師の生涯教育には技師会以外の各学会での発表や論文その他の活動実績のすべてを技師会が100%認証するシステムが望まれます。診療放射線技師は技師会以外にもたくさん活躍しており、それが正当に評価

されなければ生涯教育という意味がありません。

**中澤** 私どもはMRI集中講座という研修会を平成20年から始めました。この目的はMR専門技師認定者を育成しようということで、ぜひ東放技会員には合格していただきたいということが企画の意図です。最初の講習会はテキストがずいぶん分厚

くなっていました。今年度はもう一度見直して、本にして出版しようかと話になり出版しました。アマゾン

ドットコムから2000円で販売しています。

埼放技ではいろいろな事業をなさっていると思うのですが、埼玉県民に対する事業としてはどんなものがありますか。

**小川**：埼放技は6地区に分かれて、各地区会が各市で行われる健康まつりにおいて放射線展や画像展というスペースをもらいまして、そこで放射線技師の仕事、検査の説明、被ばく相談等を説明し、放射線技師という職業をアピールするような催し物を毎年行っております。本部はパネルをつくり、それを使えるようにしておきます。あとは埼放技の学術大会は年に1回ですが、市民公開講座を行っています。

**中澤** 東放技もほぼ同じです。5支部にわけて、そのなかで開催されている健康まつりに参加しています。診療放射線学の啓発ということで関連パネルの展示、放射線被ばく相談、ファントムを用いた乳腺触診体験、超音波を使った骨密度測定というものを行っています。ただ、他の職能団体も参加しておりますので、臨床検査技師会が優先的に骨密度測定をやる場合には私どもが引いて、臨床検査技師がやらない場合は私どもがやるというようにお互いに棲み分けながらやっています。あとは、都庁がネットワークを作り、12医療職能団体で東京都看護協会が中心になって行って



いる看護フェスタにブースを出してイベントを行います。他には都庁でやっておりますピンクリボンフェスタに参加し、展示ブースを出店し都民に対する放射線関連の啓発活動を行っております。

**小川** 骨密度は大変人気がありますよね。ただ問題がひとつありまして、結果を評価するか、指導をどうするか、ということです。保健師さんがいらっしゃる場合にはそういった指導ができますが、われわれにはできません。結果をお渡しして終わりになってしまいます。

**中澤** われわれも同じです。本人に説明して結果をお渡しする際に、何かご心配な点がありましたらお近くの医療機関にご相談くださいとおすすめしています。

**小川** 埼放技は会誌を年6回発行していますが、情報の伝達としては絶対に必要です。公益法人としては金額が書いてあるとダメだとかありますが、私としては絶対に残したいと思っております。もちろんホームページも充実させないといけないのですが、会誌は学術誌としても充実させていきます。

**中澤** 東放技は会誌「東京放射線」を毎月発行しています。会員にとっては非常に大きな財産だと思いますし、生涯教育としての学習資料になると思います。今、公益法人化にむけて会誌の学術性を高めるということで、一生懸命取り組んでおります。昨年は会誌の初めての試みとして乳腺病理の基礎を特集し、カラー印刷しました。会員からは好評との意見を頂いておりますが、印刷代が高くなるという欠点も生じます。また、新公益法人移行に向けた会誌の公益性を高めるためにいろいろなお意見をいただいております。例えば東京都からは各地区で行っているボウリング大会やパーベキュー大会といった懇親を含めた活動は公益活動にふさわしくないということで「東京放射線」にそういった写真を載せるな、というご指導もあります。会誌の中身をもう少し学術中心なものに

変えていこうと思っております。埼放技のように原稿をお願いしたらぱっと届く、というようにはなかなか上手くはいかないですね。来年度新公益法人取得に向けて東京都のほうから定款の指導もありましたし、今、準備しているところです。

**小川** 公益法人制度改革を、いやいや対応するのではなく、前向きにとらえて組織を成長させる大きなステップであると思っております。一方組織は人ですから、役員のリフレッシュ、常に新しい風を入れるということが大切だと思います。会長が変わらないのなら、副会長や理事を変えるとか、毎年何かしていけないと…。

**中澤** 東放技も今の体制がだいぶ長くなってまいりましたから、その辺の人事の刷新が組織の改革に繋がっていくのだろうと思っております。

## 技師会の抱えている問題

**小川** 今年の抱負、技師会事業とも関連しますが、やはり一番大きいのは会員数の伸びの問題です。今年度の新入会員は45人くらいですかね。できれば70、80人くらいほしいですね。やはり、新人技師の待遇、経済的に厳しいのですかね。少ない初任給の中での負担が大きいのかなと。会員増員策、減少防止策として以前はシニア会員という60歳以上のかたに会員籍を設けていたのですが、シニア会員ではなく埼玉会員という地方会員のみの資格を設けたのでシニア会員籍はありません。



**中澤** 東放技も同じような悩みがありまして、毎

年100名くらい入会してくるのですが、150人くらい、場合によっては200人くらいが退会してしまいます。今、会員が減り始めています。その対策として、新人は入会金なし、会費5,000円、1年間研修会・講習会無料ということですが、なかなか入ってこない。新人に対する取り組み方がまだまだ足りないと思うんですね。どこの施設に新人が入職したかということ把握し、技術部長・技師長に入会案内を送るといった作業が足りなくなっているのだと思います。我々の足で歩くといった作業が少し弱くなったのかもしれない。経済も非常に厳しくなった、病院の環境も厳しくなったと、なかなか技師会活動にも参加できないといった、いわゆる医療環境、社会環境、経済環境といったいろいろなことが被さってきて、少し入会するには少し勇気がいるのかもしれない。

**小川** ですから、職場の上司である技師長の後押しをぜひお願いしたいです。でも技師長だけではダメですね。先輩技師と一緒に勉強に行こうとか、技師会に行こうと誘い込んでもらえるといいですね。そのうちに目覚めてくれる人がいますから。

**中澤** 東放技では役員になっていただける方というのが、なかなか手をあげてくれないという問題があります。積極的に手を上げていただける魅力ある会にしていかなくてはと、いう気はしております。平成15年の第44回総会で新事務所購入議決をしてから7年、待ちに待った新事務所が完成しました。今まで仮事務所にいましたが、ようやく昨年の12月に125㎡の事務所に引っ越しました。

大きな課題を1つクリアです。非常に大きな事務所80人くらいが入れますので、東放技の会員を中心に関連する団体、研究会など有効活用していただければ、と思っております。

**小川** 拠点として集まるということは大事ですからね。埼放技はさいたま市の宮原駅の近くにあります。過去において会長のいる病院に事務所をおくというケースもありましたが、どうしても情報の逸脱や滞ってしまうことが多いので活動の拠点があるということは素晴らしいことです。活動拠点を作ってくださった先輩方に感謝ですね。

### 最後に…

**中澤** 小川先生のご趣味は？

**小川** 車に乗ることだとか、音楽を聴くだとか、そういうことですかね。コンサートに行ったり、車で温泉に行ったりだとか、時間が空いたときに実行しています。残念ながらいつも一人です。

**中澤** 私は油絵が趣味ですが、描き始めるとどうしても夢中になり1ヶ月くらい没頭しますので、最近は描けない状況です。今は簡単にできる家庭菜園をやっております。ジャガイモやゴーヤ、オクラを作っております。自分の庭で1坪くらいを畑にして、ちょっとしか取れませんが、楽しいですよ。あとはティト君（イギリスの牧畜犬：ウェルシュ・コーギー・ペンブローク）と家内と一緒に週末は散歩に行ったりもします。

**小川** 今年も忙しい年になりそうですね。

**中澤**：お互いに体には気をつけて頑張りましょう。

# 総 会 資 料

平成22年度事業計画（案）

平成21年度補正予算（案）

平成22年度当初予算（案）

## 平成22年度事業計画（案）

### 1.はじめに

昨年8月に衆議院選挙が行われ、民主党が圧勝しました。そして民主党、社民党、国民新党による連立政権ができ、今までの自民党の官僚政治の在り方が抜本的に見直されています。しかしながら先行きに幾ばくかの不安感を感じているのは私だけでしょうか。政権の立場にたった言動に、過去の言動と比較し差違が垣間見られ、いわゆるブレが生じており、各論では賛成できることがたくさんあるにもかかわらず、マクロ的な面で不透明な部分が露呈し評価をさげてしまいます。でも「あなたには言われたくない」と言った鳩山首相のことも理解できます。難問課題が山積している日本丸の行く末が大変気になる今日この頃ですが、我々は自分に与えられた守備範囲をきちんと守って、活性化していくことが、今実行すべきと自らに命じております。

さて昨年お約束した、新公益法人制度移行認定ですが、一年間定款や諸規程を見直し準備をしてみました。その結果を会員の皆様に評価頂き、本年申請に進んで行きます。皆様のご支援ご協力をお願いします。今回の認定申請作業ですが、公益法人のガイドラインが最初から確固たる出来映えではなく、常に改訂、よく言えば改善が図られ、我々はある時は、このままでは公益は無理かなと困惑し、ある時はいけそうだと楽観的にもなりました。日本中の法人がこの制度に悩まされておりますが、本会は「公益目的である県民のために」と「職能団体の会員のために」をバランスよく調整し活動していきます。

平成22年度事業計画案について、昨年と大きな変更はありませんが、今年は放射線技師のスキル

アップを目指して読影能力を向上させるための講習会を地区ごとに開催していきます。是非とも出不精な心にむち打って出席ください。またマネージメント・セミナーに本腰を入れて開催していくつもりです。

本会は先人達によって昭和26年に発足した58年の歴史をもった組織です。我々理事はこの組織を一段ステップアップさせるために公益社団法人格取得に全力投入致します。会員各位の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 2.基本方針

- 1) 「*improvement*改善」と「*diversity*多様性」
- 2) 「*complete lifelong education*生涯教育の充実」
- 3) 「*study and investigation*研究と調査」
- 4) 「*cooperation*連携から*collaboration*協働」

### 3.事業計画

#### 3.1.職業人としての質の向上

- 1) 認定講習会・セミナーの定期開催と見直し
  - ・胸部撮影認定講習会
  - ・上部消化管検査認定講習会
  - ・SARTセミナー
  - ・放射線技術部門マネージメント・セミナー  
(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
  - ・CT検査認定講習会
  - ・読影力向上講習会
  - ・放射線工業界との合同開催企画

- 2) 会員講師の育成と体制づくり
- 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
  - ・関東甲信越放射線技師学術大会への協力
  - ・埼玉県医師会主催事業への支援
  - ・埼玉臨床画像研究会
  - ・日放技学会関東部会との合同開催企画
  - ・日本放射線技師会学会との合同開催企画
  - ・他学会（関東エリアレベル）埼玉開催の推進（開催支援、後援）
- 4) 研究会活動の見直し
- 5) アドバイザー（技術・業務支援）の創設・育成
- 6) 研修病院の創設
- 7) 医療被ばく線量の最適化

### 3.2. 組織運営に関わる事業

- 1) 会員データベースの再構築法の検討
- 2) 行政との連携・埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 3) 公益法人制度改革への対応・準備

### 3.3. 公益事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 漏洩放射線線量測定事業の継続
- 4) 医療画像展の開催と支援
- 5) 市民向けホームページの充実
- 6) 医療被ばく相談の迅速な対応

### 3.4. 情報

- 1) 会員向けホームページの充実
- 2) メールマガジンの有効利用
- 3) 学術データベースの構築

### 3.5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 新公益法人会計基準への適応

### 3.6. その他

- 1) 役員外の会員登用によるプロジェクトチームの創設
- 2) 中長期計画の策定
- 3) 医療技術関係団体との連携
- 4) 技師会センター長期修繕計画の立案

ご審議のほどよろしくお願い致します

平成21年度補正予算（案）

自平成21年 4月 1日 至平成22年 3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

科目	当年度補正予算額	当年度当初予算額	増減額	備考
事業活動収支の部				
事業活動収入	18,675,000	18,675,000	0	
会費収入	11,375,000	11,375,000	0	
正会員会費収入	10,800,000	10,800,000	0	@9000×1200
ロイヤル会員会費収入	0	0	0	@9000×0
賛助会員収入	575,000	575,000	0	@25000×23社
事業収入	7,240,000	7,240,000	0	
会誌広告料収入	2,500,000	2,500,000	0	@120000×8社@60000×17社
研修事業収入	2,500,000	2,500,000	0	
漏洩検査事業収入	1,500,000	1,500,000	0	
その他の事業収入	740,000	740,000	0	センター利用料
学術・教育収入			0	研修事業収入に含む
寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
雑収入	60,000	60,000	0	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
事業活動支出	19,970,000	19,970,000	0	
事業費支出	10,350,000	10,350,000	0	
学術・教育費支出	2,500,000	3,000,000	▲ 500,000	講習会・学術大会
出版事業費支出	5,000,000	5,000,000	0	編集会議・会誌郵送料・会誌印刷料
連絡費支出	450,000	450,000	0	郵送料・支払い手数料
福利厚生費支出	1,100,000	400,000	700,000	ソフトボール大会・新春の集い・慶弔費
調査事業費支出	300,000	300,000	0	アンケート調査費等
公益事業費支出	1,000,000	1,200,000	▲ 200,000	医療画像展・公開講座
その他の事業費支出	2,600,000	2,600,000	0	
表彰費支出	180,000	180,000	0	表彰状作成・記念品等
地区会連絡調整費支出	480,000	480,000	0	6地区@400×985
北関東地域技師会費支出	240,000	240,000	0	@200×1197
漏洩検査事業費支出	1,150,000	1,150,000	0	漏洩線量測定事業委託費
賃借料支出	550,000	550,000	0	リース代（コピー機・骨密度測定装置）
管理費支出	7,020,000	7,020,000	0	
臨時雇賃金支出	1,200,000	1,200,000	0	人件費
会議費支出	1,000,000	1,000,000	0	理事会・常任理事会
旅費交通費支出	580,000	800,000	▲ 220,000	交通費
通信運搬費支出	370,000	370,000	0	携帯電話
消耗什器備品費支出	700,000	700,000	0	会員カード
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
修繕費支出	100,000	100,000	0	
光熱水料費支出	200,000	200,000	0	
租税公課支出	200,000	150,000	50,000	固定資産税・収入印紙代等
業務委託費支出	900,000	900,000	0	税理士顧問料・決算業務料含む
支払手数料支出	150,000		150,000	振込手数料等
総会費支出	820,000	800,000	20,000	
保険料支出	150,000	150,000	0	
渉外費支出	200,000	200,000	0	
雑費支出	100,000	100,000	0	
事業活動収支差額	▲ 1,295,000	▲ 1,295,000	0	
投資活動収支の部				
投資活動支出	200,000	200,000	0	
有形固定資産取得支出	200,000	200,000	0	
什器備品支出	200,000	200,000	0	情報通信機器更新
投資活動収支差額	▲ 200,000	▲ 200,000	0	
予備費	300,000	300,000	0	
当期収支差額	▲ 1,795,000	▲ 1,795,000	0	
前期繰越収支差額	13,500,000	13,500,000	0	
次期繰越収支差額	11,705,000	11,705,000	0	

平成22年度当初予算（案）

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

科目	当年度予算額	前年度補正予算額	増減額	備考
<b>事業活動収支の部</b>				
事業活動収入	19,055,000	18,675,000	380,000	
会費収入	11,645,000	11,375,000	270,000	
正会員会費収入	11,070,000	10,800,000	270,000	@9000 × 1230
賛助会員収入	575,000	575,000	0	@25000 × 23 社
事業収入	7,250,000	7,240,000	10,000	
会誌広告料収入	2,040,000	2,500,000	▲ 460,000	@120000 × 4 社 @60000 × 26 社
研修事業収入	2,000,000	2,500,000	▲ 500,000	
漏洩検査事業収入	1,400,000	1,500,000	▲ 100,000	
その他の事業収入	810,000	740,000	70,000	センター利用料
福利厚生事業収入	1,000,000	0	1,000,000	新春の集い・ソフトボール大会
寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
雑収入	160,000	60,000	100,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	150,000	50,000	100,000	
事業活動支出	19,088,000	19,970,000	▲ 882,000	
事業費支出	10,290,000	10,350,000	▲ 60,000	
学術・教育費支出	2,010,000	2,500,000	▲ 490,000	講習会・学術大会等・
出版事業費支出	5,680,000	5,000,000	680,000	会誌印刷料・会誌郵送料
連絡費支出	150,000	450,000	▲ 300,000	郵送料
福利厚生費支出	1,200,000	1,100,000	100,000	ソフトボール大会・慶弔費
調査事業費支出	300,000	300,000	0	IT 調査費等
公益事業費支出	950,000	1,000,000	▲ 50,000	医療画像展・公開講座等
その他の事業費支出	2,678,000	2,600,000	78,000	
表彰費支出	200,000	180,000	20,000	表彰状作成・記念品等
地区会連絡調整費支出	492,000	480,000	12,000	6 地区 @400 × 1230
北関東地域技師会費支出	246,000	240,000	6,000	@200 × 1230
漏洩検査事業費支出	1,190,000	1,150,000	40,000	漏洩線量測定事業委託費
賃借料支出	550,000	550,000	0	リース代（コピー機・骨密度測定機）
管理費支出	6,120,000	7,020,000	▲ 900,000	
給料手当支出	1,150,000	1,200,000	▲ 50,000	人件費
会議費支出	1,200,000	1,000,000	200,000	理事会・常任理事会
旅費交通費支出	200,000	580,000	▲ 380,000	交通費
通信運搬費支出	370,000	370,000	0	携帯電話利用料等
消耗什器備品費支出	300,000	700,000	▲ 400,000	
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
修繕費支出	100,000	100,000	0	
光熱水料費支出	200,000	200,000	0	
租税公課支出	150,000	200,000	▲ 50,000	固定資産税・収入印紙代等
業務委託費支出	900,000	900,000	0	税理士顧問料等
支払手数料支出	300,000	150,000	150,000	振込手数料等
総会費支出	600,000	820,000	▲ 220,000	
保険料支出	150,000	150,000	0	
渉外費支出	100,000	200,000	▲ 100,000	
雑費支出	50,000	100,000	▲ 50,000	
事業活動収支差額	▲ 33,000	▲ 1,295,000	1,262,000	
<b>投資活動収支の部</b>				
投資活動支出	10,500,000	200,000	10,300,000	
特定資産取得支出	10,500,000	0	10,500,000	
記念行事積立資産支出	500,000	0	500,000	60 周年記念行事
減価償却引当資産取得支出	10,000,000	0	10,000,000	
有形固定資産取得支出	0	200,000	▲ 200,000	
什器備品支出	0	200,000	▲ 200,000	
投資活動収支差額	▲ 10,500,000	▲ 200,000	▲ 10,300,000	
予備費	200,000	300,000	▲ 100,000	
当期収支差額	▲ 10,733,000	▲ 1,795,000	▲ 8,938,000	
前期繰越収支差額	12,000,000	13,500,000	▲ 1,500,000	
次期繰越収支差額	1,267,000	11,705,000	▲ 10,438,000	

## 平成22年度 一般会計予算の概要について

会員の皆様におきましては、平素から当会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年度に引き続き、当会は公益社団法人格取得に向け会計業務の見直しを行っております。

平成21年度は、一般会計予算の内容を予算書の数字だけでなく、その概要について文章で会員の皆様へご説明させていただきました。平成22年度につきましても予算の概要をご説明させていただきます。

平成22年度一般会計予算につきましては、平成21年度9月までの予算執行状況をもとに、補正予算を作成し、これに次年度の事業計画を含め、作成いたしました。

次年度予算で大きく変更しましたものについてご報告させていただきます。

### 1. 福利厚生事業収入・支出の増額

平成21年度までの会計処理では、福利厚生事業にかかった支出と収入の差額分のみを計上していましたが、支出は支出、収入は収入として会計処理を行う必要があると、顧問税理士からの指導により、次年度からの予算につきましてはそれぞれ増額となりました。

### 2. 出版事業費支出の増額

現在使用しているWebレンタルサーバーの容量不足により、新しく大容量のサーバーへの契約移行、また、貸借・保守管理のための費用を計上させていただきましたので、従来出版事業に必要な予算額よりも増額となりました。

### 3. 投資活動支出について

投資活動支出につきましては、特定資産取得支出として以下の2科目を追加、予算として計上させていただきました。

#### ① 記念行事積立資産支出

平成23年で当会は発足60周年を迎えます。この60周年記念行事のため、平成22年度にこれにかかる費用の積み立てを行います。

#### ② 減価償却引当資産取得支出

新制度では、遊休財産（公益目的事業や収益事業等のために現在使用していない財産で、かつ今後も使用が見込まれない財産の合計額）の上限額が、1事業年度分の公益目的事業相当額となります。ただし、公益目的事業に使用している固定資産、将来の特定費用準備金、また、特定の財産の取得のために積み立てた財産は、遊休資産から除くことができます。前年度までは1千万円弱の繰越収支差額がありましたが、この繰越収支差額が遊休財産とみなされる可能性があるとの指摘を受け、平成22年度はこの収支差額相当額を公益目的事業費支出額を超えないようにするため、減価償却引当資産取得支出として積み立てを行います。

以上が平成22年度一般会計予算の概要となります。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

# 第25回埼玉放射線学術大会 プログラム集

テーマ

「医用画像最前線

～明日の健康のために～」

開催日 平成22年3月14日

会場 大宮ソニックシティ

## 第25回 埼玉放射線学術大会

日 時：平成22年 3月14日（日） 9:10～15:30

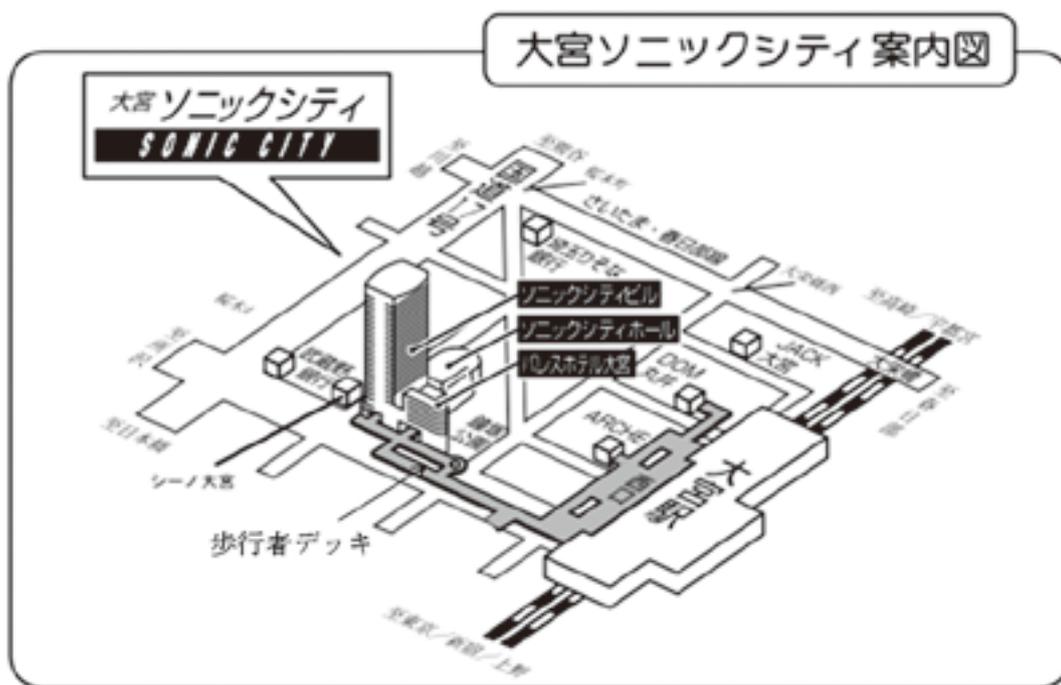
場 所：大宮ソニックシティ

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

TEL 048-647-4111

主 催：社団法人 埼玉県放射線技師会

### ■会場案内図■



●JR大宮駅西口から徒歩3分

●お車の場合：首都高速道路埼玉大宮線 新都心西ICより1km

(ソニックシティ地下駐車場 200円/30分 7:00～23:00)

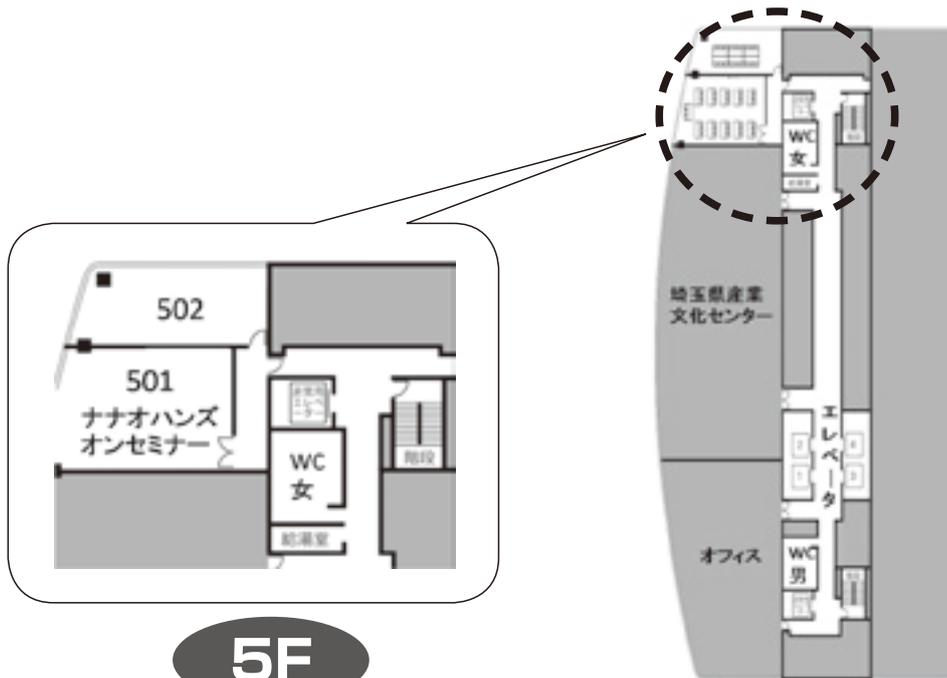
第25回 埼玉放射線学術大会会場案内図



4F



6F



5F

## 第25回 埼玉放射線学術大会プログラム

### テーマ「医用画像最前線 ～明日の健康のために～」

時間	第1会場 市民ホール 401 402	時間	第2会場 市民ホール 403	第3会場 市民ホール 404	会議室 501	会議室 601	会議室 604
9:10	受付開始 4Fロビー						
9:25 ～ 10:10	一般演題群Ⅰ (CT) 4演題 座長 中根 淳						
10:10 ～ 10:50	一般演題群Ⅱ (MR・管理) 4演題 座長 杉村 瞳	9:30 ～ 10:30	レクチャーコース 消化管 テーマ 上部消化管 座長 塚田 高志 演者 大森 正司 今出 克利	県民公開講座 骨密度測定 (超音波) 医療被曝相談	ナナオ ハンズオン セミナー 10:00～14:50	機器 展示 賛助 会員 各社 9:30 ～ 15:00	フ ィ ル ム リ ー デ ィ ン グ 乳 腺 消 化 管 超 音 波 胸 部 CT 9:30 ～ 14:00
10:50 ～ 11:20	一般演題群Ⅲ (RI) 3演題 座長 佐々木 健	10:30 ～ 11:20	特別講演 座長 田中 宏 「ピンチをチャンスに変える 逆転の発想」 講師 鈴木 正人	他			
11:30 ～ 12:30	予算総会 開会式						
12:30 ～ 13:10	ランチョンセミナー (株) 第一三共製薬						
13:20 ～ 14:00	一般演題群Ⅳ (MMG・一般) 4演題 座長 越沼 沙織	13:20 ～ 15:00	テクニカルディスカッション テーマ 肝臓CT 座長 富田 博信 演者 河原 剛 城處 洋輔 八木沢 英樹 双木 邦博				
14:00 ～ 14:40	一般演題群Ⅴ (一般) 4演題 座長 石川 直哉						
15:10 ～	閉会式						

### 県民公開講座

主催 (社)埼玉県放射線技師会

### 「医用画像最前線～あなたの健康のために～」

第25回埼玉放射線学術大会では昨年と同様に、一般県民対象の公開講座を企画しております。

今回は、「医用画像最前線～あなたの健康のために～」というテーマを掲げ、医用画像展を開催します。また、副題にもある健康のために、骨密度測定(超音波)や被ばく相談も実施します。

医療従事者も参加可能ですが、混み合っている場合は一般県民の方が優先となりますので、ご了承ください。

## 第25回 埼玉放射線学術大会へ参加される会員の皆様へ

第25回埼玉放射線学術大会実行委員長  
 (社)埼玉県放射線技師会学術担当常任理事 富田博信

今回の学術大会の開催は例年開催していました県民活動センターより場所を大宮のソニックシティーに移しての開催となります。よりアクセスしやすくなり、多くの皆さまに参加していただけたらと思っております。

プログラム内容は、一般演題、テクニカルディスカッション（上部消化管、CT）、特別講演、ランチョンセミナー、フィルムリーディング（乳線、超音波、上部消化管、胸部CT）、県民公開講座、ハンズオンセミナーなどたくさんの企画を予定しています。本学術大会において少しでも会員の皆さまのスキルアップができれば幸いです。

### 参加登録手続きについて

登録手続きは、午前9時10分より4F第1会場前にて開始します。

#### ●登録受付時間

9:10~14:30

#### ●参加登録費

埼玉会員	1,000円
他県会員	1,000円
賛助会員	1,000円
学生	無料
非会員	2,000円

#### ●登録方法

- ①参加登録票にご記入の上、大会受付にご提出ください。
- ②イベントパスをお渡します。会期中は必ず着用をお願いします。（要返却）

## 演題発表要綱

### I 口述演題発表

#### 1. 発表方法

- ① 口述7分（口述終了1分前に緑ランプが点灯、終了時に赤ランプが点灯します）。
- ② 口述発表は、PowerPoint等によるPC発表のみとします。
- ③ 動画がある場合とMacintoshをご利用の場合、ご自身のPCをお持ち込みください。
- ④ 発表データは、CD-R、USBメモリー（ともにWindows限定）でお持ち込みください。それ以外のメディアは受付できませんのでご注意ください。
- ⑤ 発表データ登録は、セッション開始30分前までに下記会場にて済ませてください。また、発表時間の15分前までに次演者席にご着席ください。
- ⑥ プログラムの円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。
- ⑦ 会場では各演者ご自身で演台上の機材を用いてスライドの操作をしていただきます。（係員もおりますので、ご不明な点はお尋ねください）
- ⑧ 発表は1面投影です。

#### 2. 演題受付

場 所：4F第1会場前に演者受付を設置いたします。

時 間：3月14日（日）午前9時10分より開始

#### 3. 発表者の方へ

##### ■パソコンを持ち込まれる方へ

- ① OSは、Windows（Windows2000以降）またはMacintosh（Mac OS 9以降）の双方に対応します。
- ② 演者受付でケーブルの接続を確認してください。
- ③ 事務局ではD-sub15ピン（ミニ）のケーブルを用意します。
- ④ 一部のPCでは本体付属のコネクターが必要な場合がありますので、必ず持参してください。
- ⑤ 事前に各自（自宅・職場等）のPCから外部モニターに正しく出力できることを確認してください。個々のPCやOSにより設定方法が異なります。
- ⑥ 画面の解像度はXGA（1024×768、60Hz）です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまったり、映らない場合がありますのでこのサイズ以外の解像度の使用はお控えください。
- ⑦ スクリーンセーバーと省電力設定は事前に解除しておいてください。
- ⑧ 会場にて電源コンセントをご用意しておりますので、PC用ACアダプター等、電源コードを必ずお持ちください。
- ⑨ 念のためバックアップデータとして、CD-RもしくはUSBデータを必ずお持ちください。データ形式等は、以下の「データを持ち込まれる方へ」をご参照ください。

- ⑩ 発表後は、会場内（発表演台の近くにオペレータがおります）にて、PC を返却いたします。

■データを持ち込まれる方へ

- ① 事務局で用意するPC のOS は、Windows XPです。
- ② プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPoint 2003をご用意します。フォントはOS標準のもののみをご用意します。これ以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれ・文字化け・表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。  
Microsoft PowerPoint 2007をお使いの方はPowerPoint 2003へのバージョンダウンをお願いいたします。
- ③ お持ち込みいただくメディアは、CD-RもしくはUSBメモリーでお願いします。
- ④ 発表データをCD-Rにコピーする時には、ファイナライズ（セッションのクローズ・使用したCDのセッションを閉じる）作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合、データを作成したPC以外でデータを開くことができなくなり、発表が不可能になります。パケットライト方式のCD-Rは使用できません。
- ⑤ 持ち込まれるメディアには、当日発表のデータ（完成版）以外入れないようにしてください。
- ⑥ 必ず事前にご自身でウイルスチェックを行ってください。
- ⑦ 大会終了後、4月30日までに発表後抄録の提出をお願いいたします。

II 一般演題座長の皆さまへ

- ① 4F第1会場前「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 担当セッション開始20分前までに4F第1会場前、座長受付で受付を済ませ、次座長席にご着席ください。
- ③ 各セッションの進行に関しましては、担当の座長に一任いたしますので、割り当て時間を厳守していただきますようお願いいたします。
- ④ 大会終了後、4月30日までに座長集約の提出をお願いいたします。

III ランチョンセミナー講師の皆さまへ

- ① ランチョンセミナー講師の方は大会登録は必要ありません。
- ② 担当講演開始30分前までに4F第1会場前「講師受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。

IV ランチョンセミナー座長の皆さまへ

- ① 4F第1会場前「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 担当講演開始30分前までに、講師同様、4F第1会場前「講師受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。

V テクニカルディスカッションの演者・座長の皆さまへ

- ① 4F第1会場前「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 4F第1会場前「講師受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。
- ④ 大会終了後、4月30日までに座長集約及び発表後抄録の提出をお願いいたします。

VI 発表後抄録について

- ① 一般演題演者、一般演題座長、テクニカルディスカッション演者、テクニカルディスカッション座長の皆さまは4月30日までに発表後抄録の提出をお願いいたします。
- ② 一般演題演者の皆さまはWindows Word、A4 1ページ以内でお願いいたします。
- ③ 一般演題座長、テクニカルディスカッション演者、テクニカルディスカッション座長の皆さまはWindows Word、A4 2ページ以内でお願いいたします。
- ④ 発表後抄録の送付は電子メールのみとし、送付先は下記の通りとします。

提出先： 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
 社団法人 埼玉県放射線技師会 学術 宛  
 E-mail : enndai-sart@sart.jp

■レクチャーコース

4F 第2会場 9:30~10:30

## 上部消化管撮影

司会 アジュール竹芝総合健診センター 塚田 高志  
 演者 さいたま赤十字病院 大森 正司  
 さいたま市民医療センター 今出 克利

近年、医療の現場では胃X線撮影は激減しています。しかし、健診（検診）の現場では今も多くの胃X線検査が行われています。胃がん検診は今までX線検査が主流でありましたが、ペプシノゲン法（以下PG法）や内視鏡検査、またはPG法と内視鏡検査の併用法など胃がん検診を行う各自治体や健診機関によって検査法が変わってきました。2006年、厚生労働省から発表された「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」によると、科学的に有効性が証明されている検診法は胃X線検査のみとされ、健診（検診）への実施が推奨されています。今後も有効性評価のレベルを継続または上げるためには、一層の精度向上と精度管理が必要不可欠となります。

埼玉消化管撮影研究会は、埼玉県内の消化管撮影技術の向上のため撮影技術、読影法、症例検討などを中心に活動しています。今回のレクチャーコーナーでは、埼玉消化管研究会が推奨する基準撮影法の紹介や初級者の方などに撮影手技が難しいとされている腹臥位前壁二重造影法の撮り方のコツや前壁撮影に使用する圧迫枕の形状および使い方について紹介致します。

また、胃形別の撮影手技について体位変換（ローリング方法）や撮影体位の工夫についての紹介や、最近、胃X線検査の結果判定にマンモグラフィーのようにカテゴリー分類を用いる場合が増えてきており、撮影を担当する放射線技師の病変検出能力や読影力が求められています。存在診断だけでなく質的診断が出来る追加撮影はどのような撮影が必要なのか紹介したいと思います。

消化管検査に興味のある方やこれから消化管検査を始める方、胃がん検診やドック健診に従事している方、初級者や上級者などの経験は問いませんので、是非ご参加ください。

■ハンズオンセミナー

5 F 会議室 (501) 10:00~14:50

**医療用モニタの品質管理セミナー**  
in 第25回埼玉放射線学術大会

共催 株式会社ナナオ

PACSの導入に伴い医療用モニタの普及が急速に進んでいます。液晶モニタの性能や特性を知らないままに導入し、モニタ診断の運用を開始しているケースが少なくないと考えられます。そこで、医療システム従事者の方々に、医療用画像モニタとしての特性や、求められる品質管理運用について体系的に理解し、日常業務に生かしていただく機会を提供させていただきたいと考えています。そして、液晶モニタの基礎知識や医療用モニタの選び方をわかりやすく説明をいたします。

内容

1. 液晶モニタの基礎知識

- ①液晶モニタの基礎を理解し医療用モニタの性能と選択方法の説明
- ②JESRA X-0093のモニタ品質管理ガイドラインを基に品質管理作業を行います。

2. 液晶モニタの品質管理と実践

- ①実践によるキャリブレーションや試験などのモニタ品質管理の実践

第1部10:00~11:20 (24名)

- ①液晶モニタの基礎知識 (30分)
- ②液晶モニタの品質管理と実践 (40分)
- ③質疑応答 (10分)

第2部12:20~13:40 (24名)

- ①液晶モニタの基礎知識 (30分)
- ②液晶モニタの品質管理と実践 (40分)
- ③質疑応答 (10分)

第3部14:00~14:50 (24名)

- ①液晶モニタの品質管理と実践 (40分)
- ②質疑応答 (10分)

第3部参加の方は第1部又は2部の「1.液晶モニタの基礎知識」を聴講してください。

申し込みは(社)埼玉県放射線技師会HPから事前申し込みができます。当日も定員に空きがあれば参加できますので4F受付にてお問い合わせください。

■ランチョンセミナー

4F 第1会場 12:30~13:10  
(株)第一三共製薬

MEMO

MEMO area with horizontal dashed lines for writing.

Vertical sidebar menu with items: 巻頭言, 会告, お知らせ, 新春対談, 総会資料, 学術大会, 掲各示地板区, 動本会きの, 自由投稿, 議事録, 動会員向の, 役員名簿, ジ年投ユ間稿 | ス規ルケ定, 申F 込A 書X

■テクニカルディスカッション

4F 第2会場 13:20~15:00

## 肝臓CTのprotocolsと工夫している点

座長 済生会川口総合病院 富田博信

肝臓CTのprotocolsは、施設によってまちまちです。そこで埼玉県内の施設において、肝臓CTの撮影法や工夫している点などをお話していただき、現在のおおよその現状を把握し、会場でのディスカッションを予定しています。本セッションは、ハイレベルの議論ではなく、日頃疑問に思う点や、撮影方法などを参考としていただけるように企画しました。

皆様のご施設で今後のprotocols構築の一助となれば幸いです。皆さまの参加をお待ちしています。

演者（順不同）

●「大学病院における肝臓の取り方とポイント」

埼玉医科大学総合医療センター 河原 剛

●「総合病院における肝臓の取り方とポイント」

済生会川口総合病院 城處 洋輔

●「総合病院における肝臓の取り方とポイント」

埼玉社会保険病院 八木沢 英樹

●「市立病院における肝臓の取り方とポイント」

さいたま市立病院 双木 邦博

■一般演題目次

■CT

演題群 I

4F 第1会場 9:25~10:10

座長 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

① Coronary CTにおける再構成関数の最適化とCT-AECを用いた管電流コントロールについて

所沢ハートセンター 柴 俊幸

② 心拍出量とCoronary CTにおける冠動脈造影効果との関係

所沢ハートセンター 柴 俊幸

③ 3D-CTA画像作成時におけるopacity levelの標準化

上尾中央総合病院 吉澤 俊佑

④ コーンビームCTにおけるX-Y平面の線量分布把握

埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

■MR・管理

演題群 II

4F 第1会場 10:10~10:50

座長 埼玉医科大学総合医療センター 杉村 瞳

⑤ 当院MRI装置におけるTRANCE法による下肢動脈描出の試み

済生会川口総合病院 浜野 洋平

⑥ TRANCE法を用いた下肢静脈描出の試み

済生会川口総合病院 飯嶋 亜弥子

⑦ X線透視診断装置が心臓ペースメーカーへ与える影響とその対策

埼玉医科大学病院 南 勇輔

⑧ 医療従事者を対象とした放射線に関する啓蒙活動についての報告

埼玉医科大学総合医療センター 大友 哲也

■一般演題目次

■RI

演題群Ⅲ

4F 第1会場 10:50~11:20

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健

⑨ 「埼玉県内施設における「ガンマカメラの点検に関するアンケート調査」報告

埼玉核医学技術研究会 北山 早苗

⑩ SPECT装置の日常点検 SPECT装置における固有均一性

戸田中央総合病院 大川 健一

⑪ SPECT装置の日常点検 SPECT回転中心ずれの解析と管理

戸田中央総合病院 大川 健一

■MMG・一般

演題群Ⅳ

4F 第1会場 13:20~14:00

座長 済生会習志野病院 越沼 沙織

⑫ 当院におけるマンモグラフィー画像診断への放射線技師の関わり方

小川赤十字病院 松本 洋栄

⑬ 微細石灰化病変を伴う乳癌術前化学療法における効果判定の症例報告

さいたま赤十字病院 岡田 智子

⑭ 透視検査の危機管理－注腸検査時の腸管穿孔症例－

小川赤十字病院 村田 雅弘

⑮ 経時的差分画像に対する基礎的検討

上尾中央総合病院 高橋 康昭

■一般演題目次

■一般

演題群V

4F 第1会場 14:00~14:40

座長 指扇病院 石川 直也

⑩ MS-LDグリッドを使用した小児腹部撮影における被曝線量低減効果の検討

埼玉医科大学病院 林 洋希

⑪ 移動型X線装置を用いた胸部病棟撮影における患者体位と空間線量分布の関係

埼玉医科大学総合医療センター 八木 里枝子

⑫ 当院における骨盤計測撮影法の適正化

上尾中央総合病院 館林 正樹

⑬ 手指骨側面撮影における新たな補助具作製の試み

埼玉医科大学病院 小久保 江梨

# 一般演題抄録

セッション I～V

## 1 Coronary CTにおける再構成関数の最適化とCT-AECを用いた管電流コントロールについて

○柴 俊幸 大西 圭一  
所沢ハートセンター

### 【要旨】

高いNPV (Negative Predictive Value) を持つCoronaryCTは外来診療における冠動脈疾患の診断プロセスとしての有用性は大きくなり、当院においてもスクリーニング検査が多く依頼され、診断能を低下させず、低被曝に検査を行うことが求められる。今回、再構成関数の最適化と、CT-AEC (Automatic Exposure Control) による管電流コントロールを検討したので報告する。

## 2 心拍出量とcoronary CTにおける冠動脈造影効果との関係

○柴 俊幸 大西 圭一  
所沢ハートセンター

### 【要旨】

Coronary CTにおける冠動脈造影効果は様々な因子に影響され、心拍出量も重要な因子であると考えられるが、従来、心拍出量測定にはスワングアンツカテーテルを使用しなければならず、Coronary CT対象患者全例に使用することは難しい。今回、心拍出量を簡易的に測定することのできるインピーダンス心拍出量モニタを使用する機会を得たため、心拍出量と冠動脈造影効果の関係を報告する。

## 3 3D-CTA画像作成時におけるopacity levelの標準化

○吉澤 俊佑 太田 陽一郎 神山 貴幸 佐々木 庸浩 佐々木 和義 田中 武志  
上尾中央総合病院

### 【要旨】

近年、MDCTの進歩と普及によりCTAは多くの施設で行われるようになった。当院でも救急時における頭部3D-CTAは常時対応できる体制をとっている。しかし、提供する画像においてopacity level設定に差が生じているのが現状であり、要因として技師間での経験と主観性が挙げられる。今回、画像作成時における再現性の向上、主観性の低減を目的とし、opacity level設定の標準化について検討した。

#### 4 コーンビームCTにおけるX-Y平面の線量分布把握

○鈴木 佳也 八木 里枝子 大友 哲也 河原 剛 塩沢 努 小林 芳春  
埼玉医科大学総合医療センター

##### 【要旨】

当センターでは、IVR支援システムとしてFPD搭載コーンビームCTを使用しており、約200°の回転収集撮影から画像を構築している。そこで、今回患者体内における線量分布の把握の指標として、水等価ファントムの周囲に線量計を配置し、X-Y平面の線量分布について測定したので報告する。

#### 5 当院MRI装置におけるTRANCE法による下肢動脈描出の試み

○浜野 洋平 棹山 孔太郎 飯嶋 亜弥子 倉持 正樹  
済生会川口総合病院

##### 【要旨】

近年、下肢動脈の非造影検査には東芝に代表されるFBI法（心周期2時相の画像を用いて動脈を選択的に描出する方法）が用いられ、標準的な方法として確立されつつある。

当院MRI装置でも同様な方法で下肢動脈の描出が可能であると考え、撮像条件等を検討したので報告する。

#### 6 TRANCE法を用いた下肢静脈描出の試み

○飯嶋 亜弥子 棹山 孔太郎 浜野 洋平 倉持 正樹  
済生会川口総合病院

##### 【要旨】

当院では非造影下肢動脈の検査ではTOF法からTRANCE法へ移行し描出能が向上した。非造影下肢静脈を描出する方法として2D-TOF法を用いてきたが、下腿部深部静脈の描出不良になるケースを数多く経験した。そこでTRANCE法を静脈描出に応用できないかと考え撮像条件を検討した。

## 7 X線透視診断装置が心臓ペースメーカーへ与える影響とその対策

○南 勇輔 高橋 将史 安江 章則 山崎 富雄 和田 幸人  
埼玉医科大学病院

### 【要旨】

厚生労働省より平成21年9月24日付けで、パルス状の連続したX線が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器に照射されるとオーバーセンシングが発生し、その動作に影響を与える可能性があるとの通知が出された。この通知を受け、当院のX線透視診断装置にて、心臓ペースメーカーに対し、パルス透視、連続透視、連続撮影を行い、その影響の程度と影響が出た場合の対策について検討したので報告する。

## 8 医療従事者を対象とした放射線に関する啓蒙活動についての報告

○大友 哲也 八木 里枝子 鈴木 佳也 河原 剛 塩沢 努 小林 芳春  
埼玉医科大学総合医療センター

### 【要旨】

当センターでは、我々診療放射線技師以外にも多くの医療従事者が放射線業務に携わっている。しかし、業務を通じて、放射線による人体への影響や防護について誤った認識をされることが少なくなかった。そのため、放射線についてより正しく理解を深めていただきたいと考えて、当センターの医療従事者を対象とした啓蒙活動を実施したので報告する。

## 9 埼玉県内施設における「ガンマカメラの点検に関するアンケート調査」報告

○北山 早苗 小池 克美  
埼玉核医学技術研究会

### 【要旨】

平成19年3月に医療法施行規則の改正があり、医療機器の安全使用のための体制確保が明記された。医療機器は保守点検を適正に実施する必要がある、また、ガンマカメラは薬事法の特定保守管理医療機器にも指定されている。法改正より2年が経過し、現在のガンマカメラの保守点検の状況を調査する目的で、埼玉核医学技術研究会では、平成21年8月に県内ガンマカメラ保有33施設に対し、アンケート調査を実施したので報告する。

## 10 SPECT装置の日常点検 SPECT装置における固有均一性

○大川 健一  
戸田中央総合病院

### 【要旨】

平成19年4月の医療法の一部改正の施行により、保守点検の体制作り、装置点検(QC)の2点が必要となった。そこで、今回、核医学装置を対象として、使用者としての安全管理に関する法的な解釈をもとに、当院での核医学機器安全管理の取り組み(SPECT装置における固有均一性)について報告する。

## 11 SPECT装置の日常点検 SPECT回転中心ずれの解析と管理

○大川 健一  
戸田中央総合病院

### 【要旨】

平成19年4月の医療法の一部改正の施行により、保守点検の体制作り、装置点検(QC)の2点が必要となった。そこで、今回、核医学装置を対象として、使用者としての安全管理に関する法的な解釈をもとに、当院でのSPECT装置におけるSPECT回転中心ずれの解析と管理について報告する。

## 12 当院におけるマンモグラフィー画像診断への放射線技師の関わり方

○松本 洋栄 江守 亜矢子 村田 雅弘 山田 伸司 酒本 禎史  
田中 達也 宇田 暢樹 小林 教浩 古川 富男 福島 良 桜井 守  
小川 清  
小川赤十字病院

### 【要旨】

現在当院は、乳腺外科医による検診マンモグラフィーの読影に、診療放射線技師が立ち会っている。認定講習の受講、生理検査部との勉強会など乳腺に対する知識を高め、術前カンファレンスやCPCへの参加で臨床医との距離が近づいてきた。その結果、撮影するのみだったマンモグラフィーから、医師に技師側の情報を伝え、意見の交換ができるようになった。その経緯を検証したので報告する。

**13 微細石灰化病変を伴う乳癌術前化学療法における効果判定の症例報告**

○岡田 智子<sup>1)</sup> 田中 宏<sup>2)</sup> 尾形 智幸<sup>1)</sup> 斎藤 毅<sup>3)</sup>  
 さいたま赤十字病院 放射線科<sup>1)</sup> 埼玉県立小児医療センター<sup>2)</sup>  
 さいたま赤十字病院 乳腺外科<sup>3)</sup>

**【要旨】**

2004年から2009年9月まで術前化学療法を行った19例のうち、微細石灰化病変を伴う5例について症例報告を行う。手術後の最終病理診断でpCRであった3症例はMMGでcSDであり、その内1例は著名な微細石灰化の増加がみられた。病理診断でSDと評価された症例は1例でMMGでは著名な微細石灰化の増加が見られた。今回検討した5例全ては化学療法後の効果判定とMMGの微細石灰化病変で不一致という結果となった。

**14 透視検査の危機管理－注腸検査時の腸管穿孔症例－**

○村田 雅弘 田中 達也 小川 清  
 小川赤十字病院

**【要旨】**

当院では下部内視鏡検査において極度の狭窄により通過不能な症例に対し、注腸検査を施行し深部大腸の評価を行なっている。今回、大腸癌の術前評価としてガストログラフィンを用いた注腸検査中に穿孔が生じ緊急手術となった症例を経験した。穿孔確認から緊急手術に至るまでに、技師の手技や対応、医師、看護師との連携についてを振り返り、問題点や改善点をまとめたので報告する。

**15 経時的差分画像に対する基礎的検討**

○高橋 康昭 太田 陽一郎 小林 悟史 佐々木 和義  
 上尾中央総合病院

**【要旨】**

CAD（コンピュータ支援診断）は、読影における第二の意見として用いる事により、診断効率・精度向上を期待されるシステムである。

当院では、2009年4月より検診における胸部単純撮影において経時的差分画像を追加しているが、過去画像との微妙なズレによるArtifactを生じてしまう事が多く見られた。

そこで、経時的差分画像の基礎的検討を行ったのでその報告をする。

## 16 MS-LDグリッドを使用した小児腹部撮影における被曝線量低減効果の検討

○林 洋希 佐々木 剛 後藤 正樹 采沢 大志 平野 雅弥 和田 幸人  
埼玉医科大学病院

### 【要旨】

小児腹部撮影時の被曝低減を目的に、三田屋製作所製MS-LDグリッドを試用した。このグリッドは、メーカー公表では従来の3:1のグリッドに比較して約15%の被曝低減が可能とされる。そこで、当院で使用している3種類のグリッド間でS値が同一となるような撮影条件を求め、入射表面線量を測定し、グリッドの性能評価も行った。この結果から、MS-LDグリッドの被曝低減効果の検証を行ったので報告する。

## 17 移動型X線装置を用いた胸部病棟撮影における患者体位と空間線量分布の関係

○八木 里枝子 大友 哲也 鈴木 佳也 河原 剛 塩沢 努 小林 芳春  
埼玉医科大学総合医療センター

### 【要旨】

当センターでは、移動型X線装置を用いた胸部病棟撮影において患者体位は臥位だけでなく、座位、半座位にて撮影を行っている。

そこで今回、胸腹部X線水ファントムを用いて、各患者体位と空間線量分布の関係について検討を行ったので報告する。

## 18 当院における骨盤計測撮影法の適正化

○館林 正樹 小林 悟史 佐々木 和義 田中 武志  
上尾中央総合病院

### 【要旨】

骨盤計測撮影法における被ばく低減化については、これまでも様々な発表がなされており、管電圧とX線ろ過フィルター、グリッドの選択による被ばく低減化はある程度指針化されたと言ってよいと思われる。しかし、施設によっては、撮影設備の問題から、それらと同様な条件設定を行うことは困難な場合もある。

今回、当院における設備環境下で、被ばく低減のためのよりよい撮影条件の検討を行ったので報告する。

## 19 手指骨側面撮影における新たな補助具作製の試み

○小久保 江梨 高橋 将史 後藤 正樹 采澤 大志 平野 雅弥 和田 幸人  
埼玉医科大学病院

### 【要旨】

関節リウマチ患者の手指骨撮影は正面・側面の2方向で撮影し、骨・関節の評価を行っている。関節リウマチの画像評価は、スコアリングのために手指骨を分離して、正しい側面での関節評価が重要である。

従前に使用していた補助具では、関節変形や硬縮の少ない患者でも手指骨の分離が不十分な例があった。そこで今回、発泡スチロールを用いて新たな補助具の作製を試みたので報告する。

## 第1地区

### 報告事項

#### ア、第2回 第1地区勉強会

日時：平成21年11月25日（水）19：00～21：00

場所：さいたま市立病院 2F サービス棟会議室

#### 内容：

発表：・当院での3TMRIの使用経験

さいたま市立病院 佐藤 吉海

・1.5TMRIの下肢血管非造影検査について

済生会川口総合病院 浜野 洋平

・当院における乳腺1.5TMRI検査について

埼玉社会保険病院 芦荊 雄一郎

メーカー紹介：「MRIとCTを中心とした3Dワークステーション」

ボリュームアナライザーSYNAPSE VINCENT

（実機操作有り）

（株）富士フィルムメディカル 埼玉支社

藤倉 可奈

装置見学会：3TMRIの見学

参加人数 28名

#### イ、第3回勉強会予定

日程：平成22年2月23日～3月6日 この期間の1日を予定

場所：埼玉県済生会川口総合病院

内容：総会、特別講演、メーカー紹介、等

問い合わせ

第1地区理事 八木沢 英樹

h-yagisawa@sart.jp

埼玉社会保険病院 放射線技術部

## 第2地区

### 第二地区 第4回勉強会報告

第2地区理事 肥沼武司

日時：平成21年11月20日（金）18:30～

会場：所沢市保健センター

参加者：43名

内容：①症例検討「マンモグラフィ～男性技師の接遇～」

原田病院 放射線科 瀧澤誠

②基礎講演「急性腹症 CTの見方」

済生会川口総合病院 放射線技術科 富田博信

埼玉県放射線技師会 学術担当常任理事



2地区の勉強会において11月に開催するのはここ数年無かったことである。今年度は定期的にまた業務に直結できるような勉強会として行なおうという主旨から今回開催された。

内容は上記のとおりマンモグラフィの症例検討と男性技師の接遇と急性腹症（CT）の基礎報告を行なう充実した勉強会となった。

瀧澤氏による講演は男性技師がマンモグラフィに携わることについていかに対応するか、挨拶や服装から口臭まで基本的な身だしなみとして気を配ることが説明された。富田氏による急性腹症は基礎所見の解説後にディスカッション形式の症例検討を行い読影のポイントの説明を行なった。2演題とも技師として応対や読影力を身につける目的を決め、接遇は患者さんが気持ちよく検査を受けられるように、読影においては単に病名をあてるだけでなく「何性の疾患なのか」まで見極めることが医師にアドバイスする役割を持ち日常業務にも重要になることを説いた。



## 「マンモグラフィ」 ～男性技師の接遇～

原田病院 瀧澤 誠

本資料は11月20日（金）に開催された2地区勉強会資料の1部です



近年マンモグラフィ検査を行う技師は、圧倒的に女性技師が多い中、私はマンモグラフィに携わっています。検査を行うにあたり、日々心がけていることをお話します。

### 【1 最初の印象】

#### ①検査室、更衣室の清掃

・落ちていた髪の毛を、コロコロローラやガムテープで取る。

#### ②自分の名前を名乗る

・「検査を担当する〇〇です、宜しくお願いします。」

#### ③マジックフレーズ

・「お待たせしました」「申し訳ございませんが」「お手数ですが」など前置きの表現に使い、会話が冷たくならないようにする。

### 【2 匂い】

#### ①口臭に気をつける

・前日の夕食にニンニク料理など匂いの残る物の摂取を控える。  
・検査直前にうがいをする。

#### ②白衣に気をつける

・襟の汚れに注意する。

・血液などの汚れに注意する。

③体臭に気をつける

・検査直前の喫煙を避ける。

【3 検査説明】

・「圧迫の必要性」「痛みを伴う」「脱衣する」「乳房に直接接触れる」などを説明する。

【4 検査着】

・撮影時に検査着を着用させる。

【5 撮影装置の消毒】

・直接、乳房や顔が触れるところを消毒する。患者の前で消毒して、清潔なことをアピールする。

【6 退室】

・「お大事にして下さい」「痛い検査ですいませんでした」などの声をかける。

・おじぎ(礼)をする。

・フィルム、会計表などは、両手で相手に向けて渡す。

【7 最後に】

・コミュニケーションをとりましょう。

・おもてなしの心もちましょう。

・次回も受診してもらえるように撮影しましょう。



## 所沢市健康まつり 参画報告

第2地区理事 肥沼武司

平成21年11月8日（日曜日）所沢市保健センターにて、「所沢市健康まつり」が開催された。我々2地区は「あなたのための医用画像展」として祭りに参画した。

所沢健康まつりは毎年参加していることもあり、地域住民の方にも定着していると思われる。個人的にはもう10年近く参加していることになる。

10年程前のお祭りは骨密度装置のサービスなど無く、ゲームとパネルだけであった。最近では医用モニター、ワークステーションの操作実演や中身が何倍も充実しており、年々展示物が充実していることは放射線技師が扱う機器や役割が増えているのを感じる。

健康まつり全体の参加者は800名ほど。放射線ブースは450名。骨密度は300名を超える盛況振りであった。尚、今年は同日に埼放技のソフトボール大会と重なり役員が2分されスタッフ不足であったが、今までの経験を活かし特に大きな支障も無くスムーズに運営された。

今回展示参加に富士フィルムメディカル、アミン、東芝メディカルシステムズの3社にご協力いただきました。この場を借りて感謝いたします。

### 実行委員

肥沼 武司	国立障害者リハビリセンター
千田 俊秀	所沢市市民医療センター
宮野 博希	入間市健康福祉センター
安保 靖彦	所沢市保健センター
藤井 大悟	石心会狭山病院

奥田 覚	
佐々木 拓哉	豊岡第一病院
見澤 潤一	石心会狭山病院
中邑 友香	所沢市市民医療センター
西山 裕	所沢第一病院





準備段階



輪投げゲームと景品を選ぶ子供



柴山議員と

役員施設紹介

2. 豊岡第一病院

埼玉県放射線技師会 第二地区役員  
霜田 哲徳



豊岡第一病院

開設：昭和48年

所在地：埼玉県入間市大字黒須1369-3

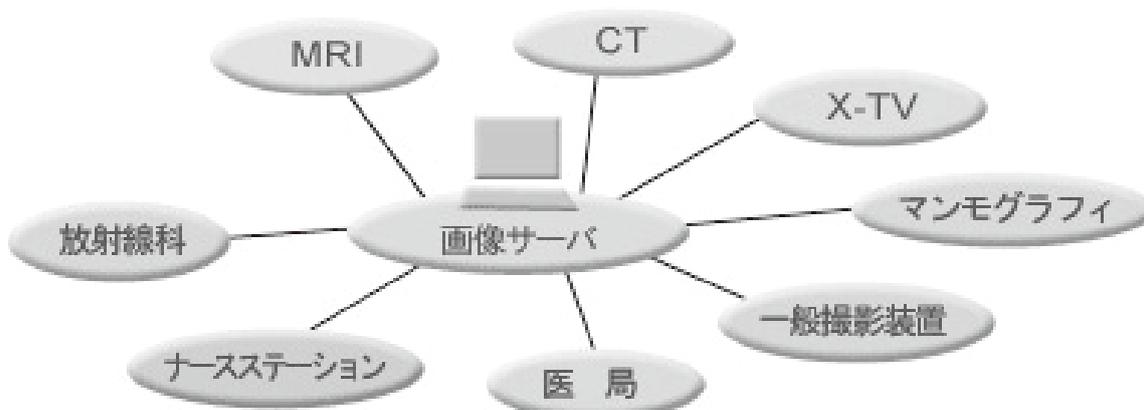
電話：04-2964-6311



施設・機器紹介

当院では、画像診断装置を全てデジタル化。マルチスライスCT（64列）、1.5T MRI装置、骨密度測定装置、マンモグラフィ、CRシステム、3Dワークステーション ZAIIO等を設置、一般撮影装置も含め、全て下図に示す通り大学病院や大規模病院に匹敵する設備を導入し、地域医療に貢献しております。

また、私たち診療放射線技師もこれらの機器を最大限に活用すべく、勉強会にも積極的に参加、技術向上に励んでいます。



## 骨休めも仕事のうち・・・？

仕事に一生懸命なぶん、骨休めも一生懸命に行っております。納涼会、忘年会はもちろん、突発的に行われるスキー旅行もそのうちの一つです。



## 放射線科について



病院が水曜日の午後にお休みなので、みんなで河川敷のショートコースに行ったこともあります。また、近くに流れる入間川では釣りもでき、仕事帰りに釣りをする者、入間市駅前のスポーツクラブで汗を流す者、パチンコ屋に直行する者もいます(笑)

このように非常にアクの強い者の集まった放射線科ですが、長谷部技師長のすばらしいリーダーシップで忙しい毎日も皆一丸となって乗り越えてきています。私たちもそんな技師長を支えていけるよう、日々精進を心がけております。



## 第3地区

### 第三地区会だより

○平成21年11月8日（日）第23回 川越健康まつりに既存協賛しました。

川越みんなの健康プラン 家族そろって健康づくり 川越総合保健センター 川越市小ヶ谷817-1

協賛催し内容：『あなたのための医療画像展』コーナー

パネル展示（埼玉県放射線技師会から借用）とその説明

各種放射線検査についての説明

川越総合保健センター乳房用X線撮影装置の説明

3Dワークステーション（Konica & GE yokogawa）体験

来場者に川越お菓子屋横丁ご用達 駄菓子の景品配布

医療画像に関するクイズ（参加者に川越お菓子屋横丁ご用達 糸引き飴）

オープニングイベント 熟年のフラSHOW??



ご賛同ご協力をいただいた KONICA MINOLTAさん & GEヘルスケア・ジャパンさん

参加者：埼玉医科大学病院 地区役員 戸矢 雅人 河村 悦嗣  
 埼玉医科大学総合医療センター地区役員 沼本 健一 永井 敦志  
 吉田恵理子 八木里枝子  
 埼玉医科大学国際医療センター地区役員 星野 孝之  
 第3地区理事 澁市 直紀



来場者：川越総合保健センター 総数 3,063人

『あなたのための医療画像展』コーナー 759人

年々、自身、家族の健康に興味を持つ方が増えている。開催時間中絶え間ない来場であった。

クイズ参加者の川越お菓子屋横丁ご用達糸引き飴は、好評であった。

○平成21年11月26日（木） 19：00～ 第2回 勉強会開催

埼玉医科大学国際医療センター C棟1階 カンファレンスルーム13

内 容：『埼玉医科大学国際医療センターのPETの役割、検査について』

講師 埼玉医科大学国際医療センター 磯部 千恵

『埼玉医科大学国際医療センターのPET装置（装置・施設見学）』

講師 埼玉医科大学国際医療センター 高橋 強悦

参加人数：16名

○平成21年11月27日（金）第23・24回川越健康まつり第3回実行委員会

①第23回 川越健康まつり 事業報告

②実施状況報告

③来場者調査結果報告

④第24回 川越健康まつり 開催計画 澁市理事出席

\*今 後 の 予 定\*

○新年会

**埼玉県放射線技師会  
第三地区 新年会のお知らせ**

この度第三地区で恒例の新年会を下記要領で開催することになりました。一年の節目を迎えご多忙のところ恐縮でございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。尚、会場の予約、準備などの都合がございますので、参加される方は下記へ連絡をお願い申し上げます。

(社)埼玉県放射線技師会 第三地区理事 澁市 直紀  
n-shibuichi@sart.jp

1. 日時 平成22年1月29日（金）19:00～
2. 会場 和風居酒屋 旬天旬菜 然(ぜん)
3. 会費 5000円（飲み放題込み）



JR(有楽町線)駅直下。田原社会福祉会館のビルを左手に見て直進。赤心堂病院の隣、徒歩5分。

お問合せは (社) 埼玉県放射線技師会 理事 澁市直紀 n-shibuichi@sart.jp 迄

## 第4地区

# 新年 あけまして おめでとうございます

平成22年も、第4地区役員一同いろいろな企画で、盛り上げたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 埼玉県放射線技師会第4地区会



長谷川英治	羽生総合病院
山田 伸司	小川赤十字病院
山崎由紀敏	東松山市立市民病院
尾川 光弘	熊谷総合病院
吉田 真一	秩父病院
萩原 貴之	行田総合病院
斎藤 幸夫	深谷赤十字病院
小林 茂幸	深谷赤十字病院

勉強会等の企画で、取り上げてほしい要望がありましたら、地区役員あるいは第4地区理事 羽生総合病院 長谷川 e-hasegawa@sart.jp まで、お知らせください。



**第5地区**

地区総会および勉強会の案内

地区総会および勉強会を開催いたします。  
 日時はまだ未定ですが2月中を予定しております。  
 予定が決まりましたら早々にご案内をしますので、

ご参加のほどよろしくお願いいたします



地区親睦ゴルフ大会



11月3日に千葉カントリークラブ北越谷パブリックコースにて  
 開催いたしました。  
 冷たく強い風に皆さんずいぶんと苦戦をされたようですが、楽しく  
 過ごすことができました。

(私は風にやられてボールが曲がって大変でした。腕のせいではないですよ・・・y)

次回はぽちぽちと暖かくなってくるころ来春を予定しています

(参加者20名満員となり次回からは人数の増員を考えなければ・・・)

## 第6地区

### 六地区会からのお知らせ

第六地区理事 石川 直哉

#### 事業報告

##### 『平成21年度 第二回定期講習会報告』

平成21年11月12日（木）さいたま赤十字病院にて平成21年度第二回定期講習会が行われ、31名と多くの会員にご参加いただきました。第六地区では、明日からすぐに役立つ講習会を企画していきます。今後も皆様のご参加お待ちしております。

##### 『第六地区忘年会報告』

平成21年11月27日（金）「酒庵 梟」大宮東口店にて、埼玉県放射線技師会第六地区会の忘年会が行われました。お忙しい中25名のご参加ありがとうございました。他施設の会員の方との親睦がはかれ、情報交換などやモチベーションの向上に役立ったのではと思います。

#### 今後の予定

##### 『平成21年度埼玉県放射線技師会第六地区会定期総会 及び、平成21年度第三回定期講習会のご案内』

平成21年度埼玉県放射線技師会第六地区会定期総会及び、平成21年度第三回定期講習会を下記のとおり開催いたします。ご参加のほどよろしく願いいたします。

日時：平成22年2月25日（木） 19：00～

場所：さいたま赤十字病院 本館5階 第三会議室

## 現場教育を考える ～リアリティショック～

上尾中央総合病院 佐々木 健

最近、「リアリティショック」という言葉をよく耳にします。日本語に訳すと「現実を知ること、衝撃を受ける」となり、専門教育を受け、理想像が形成されるが、社会で働いた際に理想との間にギャップを感じるによって生じる現象や身体的、心理的、社会的ショック反応の事で、特に対人援助職に就く人に多いと言われていています。私たち診療放射線技師もリアリティショックは充分にありえる職種だと思えます。学校教育で理論を学び、実習で見学・実地訓練をしてもそれは「現実」ではなく、遭遇するであろう重要な場面も講義や活字では、いくら大切なことだと教えられてもイメージが湧かない為、他人事となってしまいます。しかし、「現実」ではそのような場面では責任と倫理が生じてきます。そのギャップを埋める事が出来ずに疲労感が蓄積されると苦しみ、離職に繋がってしまいます。大切な人財であるかもしれない新入職員を人材のまま手放してしまう事は組織にとって大きな損害です。したがって、先輩技師がこれらを理解し職場に反映させることが重要と考えます。ここで、「リアリティショック」をもう少し掘り下げてみます。横軸に時間、縦軸に組織への理解度（ロイヤリティ）とすると、個人差はありますが、おおよそU字型になるといわれています。入職時は期待も高く、「こんな場面ではこうしよう」「こんな事をしてみよう」などイメージを膨らませています。頭の中での理想な為、現実を知り組織内の自分のポジションを見出すまではロイヤリティは一旦下がってしまいます。しかし、仕事を覚え、自分の役割を見出すことでロイヤリティは高まっていきます。リアリティショックを回避する為には3つのポイントがあり

- 1、最初の理解度を高める（診療放射線技師という職業がどれだけ魅力的なのか理解させる）
  - 2、U字型のカーブを緩やかにする（入職前後でギャップを感じない様に正確な情報を伝える）
  - 3、U字型の底を早く迎えさせる（戸惑っていたら社会人についての情報提供も含めたフォローをする）
- となります。同じ医療現場ではインターンシップ制度やプリセプターシップがリアリティショックを回避する上で有効的と言われていています。しかし、これらの制度がリアリティショックを回避する方向で運営されているかどうかはバラツキがあると思います。診療放射線技師は多様な人間関係を形成する職業である為、業務支援だけではなく人としての付き合いを大切に、相談しやすく、他スタッフとの調整役割をしてくれる先輩（PM型リーダーシップ）の育成もリアリティショックを回避する上で非常に重要だと考えられるため、今後、技師会活動の中にも含まれていけばいいなと思っています。

※インターンシップ…会社などでの実習訓練期間。学生が在学中に自分の専攻に関連する企業に体験入社する制度。医療実習などはインターンシップに含まれない。

※プリセプターシップ…一人のプリセプティ（新人看護師）に対し、一人のプリセプター（指導者）が、ある一定期間、マンツーマンで意図的・段階的・系統的な指導を行い、新人の能力育成を図る教育方法。

## 公衆衛生事業功労賞を受賞して

元東京女子医大第二病院（現東医療センター） 瀬尾 登吾



昨年暮れに小川会長より、公衆衛生功労賞受賞の喜報を頂きました。平成22年の初春に大きなお年玉を頂き光栄です。

この度は、小川会長及び、関係役員皆様のお力添えがあり、心苦しくも喜んで受諾することになりました。小川会長を始め関係役員の皆様に深く感謝申し上げます。

振り返れば昭和27年、日本大学医学部駿河台病院放射線科に技術見習いとして、無給での暗室業務から始め、パッドで1日150枚程のフィルム現像処理をし、ほとんど1日中暗室暮らしてでした。定着液のハイポーと、酢酸の臭いが体に染み付き、外出先で他人に「寿司屋の丁稚か?」と言われたこともありましたが、しかし何とか苦労時代を乗り越えて、昭和29年に、第2回診療X線技師特例国家試験に合格して、今日まで55年間放射線業務に従事してきました。昭和27年頃は戦後間もない時代で、医学の進歩も遅れ、放射線機器も少なく、X線管球も裸管球をまだ使用していた時代です。その後、国民の努力で復興も早く、昭和30年代に入り、医学の進歩も日々進展して、現在では世界に誇る程になりました。また一段と放射線機器の扱いも、技術の要求も厳しくなってきました。

私自身過去を思い返せば、平成3年に定年で東京女子医科大学第2病院（現東医療センター）を退職し、現在も週2日、内科クリニックで患者様と向き合って仕事をして居ります。東京女子医大在職当時は医療の現場で放射線業務に技師として色々勉強して来た事が、走馬灯の様に思い出され、忘れることが出来ません。

これからも老体にムチを打ちながら、他人に迷惑をかけない様に、微力ですが医療現場に貢献できるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 公衆衛生事業功労賞を受賞するに当たって

元石心会狭山病院 松元 和敏



この度、公衆衛生功労賞の受賞にあたり、大変光栄に存じます。小川会長をはじめ、技師会役員の皆様並びに、関係者の皆様には大変お世話になり、心より厚くお礼申し上げます。

昭和62年に石心会狭山病院が開設するにあたり、半年前から新しい職場（放射線科）について、どのような人員で、どのように業務を進め、技師の育成について大変悩みながら、技師育成10年計画を立てました。中規模の病院であっても、大病院に負けない技術力を目指そうと、開院時から毎日、朝・夕に勉強会を行いました。なかでも夕方は、放射線科医師による勉強会で、放射線解剖学を診断レベルで行う講義が週2～3回あり、身体の成長・仕組みを詳しく教えていただきました。

私は、平成2年頃から技師会の地区理事として、技師会活動に参加しました。職場の技師には会の動きを知らせることで、技師会総会、地区での勉強会、行事に参加することが多くなり、病院での放射線技師の向上心が大きくなってきました。

地区理事を担当した当初、2地区の会員は50名弱でした。地区での勉強会や、春には地区内の公園でお花見を開催して、会員も2年間で100名弱まで増加しました。石心会狭山病院の技師達も、積極的に参加するようになりました。このようになったことは、技師会との交流の機会が多くなったおかげと、会の皆様に感謝しております。

技師会のチームワークは大変良く、各地で行われる学会・総会では、埼玉県放射線技師会主催の懇親会に、他県の技師も参加できる親しみのある会でした。そんな会が、私は大変好きです。これからも頑張っていたきたいと思います。

最後に、埼玉県の放射線技師の皆様が、県民の皆様の健康に多大な尽力を発揮され、放射線技師会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 平成21年度胸部、上部消化管認定講習会報告

学術常任理事 富田 博信

平成21年10月から11月にわたり行われました、平成21年度、胸部、上部消化管認定講習会及び認定試験が終了いたしました。

胸部の受験者は28名でA認定1名、B認定11名という結果です。初回の受験者よりも2回目以上の受験者の方々が確実に成績を伸ばしており、今回の認定者の多くは2回目以上の受験者の方々でした。

上部消化管の受験者は25名でA認定なし、B認定1名という結果でした。胸部と比較し、通常胃、横胃の写真評価があるため、認定のハードルも高いと思われます。

本会でやっている認定講習会について改めてご紹介させていただきます。

本会では、平成11年より県内の検診精度の標準化を目的とし、胸部単純、上部消化管、マンモグラフィの検診3モダリティでスタートしました。後にNPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の講習会が全国的に普及してきたため胸部、上部消化管の2モダリティとなりました。そして、今年度よりCT認定講習会がスタートし、現在3モダリティの認定制度を行っております。

内容は、機器・精度管理、検査方法、読影、臨床・病理であり、放射線技師に必須の基本的技術論から臨床的な知識まで網羅されています。

本会では放射線技師の業務を以下のように考えています。

- 1 機器管理、精度管理
- 2 撮影及び検査業務
- 3 読影
- 4 診断
- 5 治療

1から3までを放射線技師、3から5までを医師が担当します。3の「読影」が放射線技師と医師で二重にかぶりますが、理由は以下の通りです。

- (1) 放射線技師が1次読影、医師が2次読影を行い、読影の正確性を高める。
- (2) 医師が2重読影を行うより、業務の一端を放射線技師が行うことにより、医師の負担を少なくできる。
- (3) 放射線技師が読影に関与することで、上記1,2にフィードバックすることにより、検査精度の向上が期待できる。
- (4) 業務の流れの中で、コミュニケーション・エラーを少なくすることが期待される。
- (5) チーム医療に必要な他職種とのコミュニケーションの円滑化が期待できる。

これまでに認定を受けた方々は胸部認定でA認定14名、B認定80名、上部消化管認定ではA認定4名、B認定38名です。本会独自の認定資格ですが、自分の知識、技術の確認の為に受講していただければ幸いです。

## 第1回放射線治療講習会報告

学術常任理事 富田 博信

平成21年11月28日（土）さいたま赤十字病院にて、第1回放射線治療講習会が無事終了しました。

事前申し込みを行なっておりませんが参加者は28名でした。放射線治療に特化した内容であり、放射線治療に携わる技師の数が限られている事や、医学物理士にスポットを当てた事が参加者の人数に反映していると思われました。

今回の企画は3部構成で行いました。第1部は昨年医学物理士認定を取得した方に、試験合格に向けての勉強法やコツなどを紹介して頂きました。第2部は高精度放射線治療専門施設における精度管理と題して、強度変調放射線治療（IMRT）や体幹部定位放射線治療（SBRT）を施行する上で必要なQAを紹介しました。第3部は、職制が医学物理士として業務を行なっている診療放射線技師免許を取得している医学物理士のお二人に自施設の医学物理士としての役割を紹介して頂きました。内容は、診療放射線技師から医学物理士を含めて放射線治療を安全に施行する為に何が必要かを考えさせられる素晴らしい御発表でした。

会場からは活発な質問が下記のように出ました。

### 第1部 医学物理士認定を目指して

「医学物理士を取得して何か職場環境の変化はありましたか？」

### 第2部 高精度放射線治療専門施設における精度管理

「東京都では放射線治療施設訪問をどのように行っているのでしょうか？」

他は技術的な質問等

### 第3部 医学物理士としての役割

前立腺の多門照射についての質問等

予定の講演時間が少々超過してしまいました。土曜日の午後3時からの開始で5演者は少し無理があったかも知れません。次回は日程と時間配分を詳細に検討したいと思います。また、2009年4月に更新されたさいたま赤十字病院様の放射線治療室見学も受講者のほとんどの方が参加される盛況ぶりでした。やはり他施設の仕様には関心が高い事が言えると思います。

今回の結果を踏まえて第2回放射線治療講習会につなげて行きたいと思います。

## みんなのカプリッチオ

## バブルをしらない若者たち

HT

僕たちが子供の頃は「戦争をしらない子供たち」というフレーズがあったが、今回こんなタイトルにしてみました。

「バブル経済」、今や過去の栄光のように語り継がれていますが、バブルを少しでも経験した僕が、限りある知識で紹介します。

事の始まりは、1985年プラザ合意でありました。これまで1ドル260円だった日本の円を円高にしようというアメリカ側からの発案によるものでした。日本の経済は今も昔も輸出で成り立っていて、当時の輸出額の約40%はアメリカでした。故に対アメリカの巨額の貿易黒字が発生していたのです。逆に見るとアメリカは対日本に巨額の貿易赤字があったということになります。これを解消するための円高合意がニューヨーク市のプラザホテルで行われたことにちなんで、「プラザ合意」と名付けられたそうです。この合意直前の為替は1ドル240円でしたが、わずか24時間で220円になったことは有名な話です。さらに、3年後の88年には1ドル120円台まで跳ね上がりました。

急激な円高に対応するために日銀は金利を下げたことで、国民の多くは、自分の財産や会社の財産を投機目的のために株式、不動産、ゴルフ会員権、絵画などを買いあさったのです。マンションや一戸建ての不動産が7千万8千万円は当たり前で、1億円以上するマンションもめずらしくありませんでした。億ションなどと呼ばれたものなつかしいですね。さらにはビバリーヒルズにちなんで千葉リーヒルズなんて数億円もする住宅が登場し、即売だったそうです。

井上陽水が日産セフィーロのCMで「くうねるあそぶ」というフレーズで「お元気ですか〜」なんてのもありましたが、いつのまにかクチパクになってしまいました。どうせ、働いてもサラリーマンでは家も買えないのだから、食って寝て遊べという誤った解釈にクレームがついたという噂も…。

「3高」なんて言葉もありました。高学歴、高収入、背が高い。結婚する男の最低条件です。当然ながら僕はどれにも該当しませんでした…。「私はフェラーリ、ポルシェ、BMWの外車の助手席にしか乗らないの。国産ならトヨタのソアラまではOKね」と公言する女性も普通にいきましたし、車のナンバーは「品川」か「横浜」、「大宮」や「習志野」は論外という風潮もあり、品川ナンバーを取るためにわざわざアパートを借りて住民票を移したり、今考えると涙ぐましい「見栄」を張っていた時代です。

急激な円高のおかげで、今まで高価だった海外旅行も庶民が普通に行けるようになったのもこの頃からでした。結婚する条件に、年に一回は海外旅行なんてのもありましたね。会社で責任ある立場の男性陣は長期休暇がとれず、海外旅行に行く暇がない人もいましたが、世のOLさんたちは年に数回も海外旅行に行ける人もいたようです。新婚旅行の時、旦那が旅行先でオロオロしたり、不慣れな一面を見て、帰国直後に離婚する「成田離婚」なんて言葉だけでなく実際にあったとか…。

週末は六本木でディスコ（今のクラブ）三昧。入り口に黒服のコワモチのお兄さんがいて、服装チェックをするのです。いわゆる「ダサイ」格好

をしていると入れてくれません。当然、世の女性陣の彼氏候補には「黒服」のお兄さんは入るわけです。

ハウスマヌカンなんて職業も女性の憧れの的でした。今思えば、何のことはないブランドメーカーにアルバイトで雇われているデパガのことで

タクシーは近距離の客は乗車拒否は当たり前、長距離の客しか乗せませんでした。ですから、駅前

でタクシーが客を待つという光景は当時みられませんでした。さらに、僕は見たことがありませんでしたが、一万円札を手に持ちタクシーを止める人もいたとかい

ないとか。アルバイトの時給も1000円～1500円くらいで、正社員よりアルバイトの方が給料がよかった会社も普通にあり

ましたし、実際に正社員を辞めて、自由な立場を求めアルバイト生活の若者も多かったようです。さらには「公務員を辞めて、日雇いの土方の方が充実感がある」なんて雑誌に取り上げた記事もあり

ました。今では人気職種の看護師は当時3K「汚い、きつい、危険」の職業の一つになっていて、看護師より外資系や証券会社の受付嬢の方が人気が高かった時代です。

僕が大学病院で初めてもらった夏のボーナスが5万円だったとき、僕の同級生の女の子は短大卒でボーナスが100万を超えていて、僕のボーナスの額を鼻で笑われたことを記憶しています。

しかし、好景気、円高で世が浮かれている時に裏では倒産に追い込まれる製造業も多く存在しました。これまで、輸出で経済を支えてきた自動車

業界、電化製品の大手企業の下請けには、日本の経済の縁の下を支えてきた中小製造業の存在がありました。しかし、円高の影響で海外に工場を移した方が、人件費が安くすむことで、いわゆる「産業空洞化」がおきたのです。実は今や、国内メーカーのスクーターは、ほとんど中国や東南アジアで製造されています。つまり、国内では労働者の仕事は徐々になくなっていったのです。円高で最も被害を受ける職種は労働者なのです。今も同じ事を繰り返していますが…。

私たち放射線技師はバブルの恩恵だけでなく、技師の需要と供給の問題が大きかったと思いますが、アルバイトが世に溢れていました。半日で2万円～2万5千円、1日3万円～4万円は当

たり前の時代でしたし、僕が勤務していた大学病院では技師長がアルバイトの元締めを行って

くれました。技師の初任給も民間では安くても年400万円からで、500万円以上というところも

実際にありました。医療費の自己負担割合は今では3割ですが、当時、本人は1割、扶養者は3割の時代

でしたから、それも理由の一つなのでしょう。

私たち放射線技師は直接バブルの恩恵を受けていませんが、社会全体がお金を使う雰囲気があり、活気がありましたね。ただし、本来の価値を見失っていた時代でもありました。

社会の活気という面ではおもしろかった時代ですが、今のバブルをしらない若者たちの方が物事の価値を見極める能力があるような気が

します。もう、20年前の話です…。

本文は、あくまでも筆者の個人的な見解です。

## ことわざ全集その7

### 必要なムダ

HT

昨年のリーマンショックで不景気の影響から、どこの業界でも「ムダの削減」が合い言葉になっている。もちろん家庭でも同様にカミさんの厳しいチェックが常に行われている。

今回のことわざは「必要なムダ」であるが、ムダには本当のムダと、一見、ムダに見えるが実はないと困るものであったり、長期的に見て必要なものもあったりもする。

例えば、道路の上に書いてある白線の上を歩けと言われたとしよう。普通の運動神経を持っていれば何も考えずに歩くことができる。しかし、10メートルの高さで同じ白線の幅だけしかないところを歩けと言われても、非常に難しい。それは白線の外側の路面が「必要なムダ」であるからである。また、一昔前の新入社員は会社の上司と飲み会に行くのはムダと答えていたアンケート結果を新聞で見たことがある。しかし、今の新入社員は

男女問わず、会社の上司と積極的に飲みに行きたいという結果だそうだ。理由は、仕事では聞けない話を聞いたり教えてもらったりできるからだという。これも、実は必要なムダなのだ。

僕は診療放射線技師免許以外に行政書士の免許も持っている。ある病院の面接の時、事務方に「放射線技師の仕事をするのに、法律の知識なんてムダでしょ」と言われたことがある。残念ながら、放射線技師の仕事をするのに、法律の知識は十分に役立っているし、初めからそう思っていた。

一見ムダと思っていることでも、将来の自分への投資になることが多々あると思うし、多少自分に余裕を持っている人の方がステキな人生だと思う。

## ことわざ全集その8

### 後悔先に立て

HT

「後悔先に立たず」。だれでも知っていることわざである。

だれでも思うことであるが、「もし、未来が見えたら…」しかし、特殊な霊的能力を除けば、現代では科学的に不可能である。

バブルが崩壊した直後、1992年～94年頃から、「将来は年功序列、終身雇用制度は崩壊しアメリカのような実力社会になるよ」と言われていた。あれから15年後の今、実際にそうになった。結果、格差社会になったが…。

1997年頃、再度バブルが再到来する期待が打ち砕かれ、さらに将来の人口減少を控え、土地の値

段は商業地域以外値上がりしないと言われた。あれから12年後の今、商業地域以外に第一種低層住宅地域は比較的値段がついているが、ほぼ言われたとおりになった。

世の中には、実際にそうなってから後悔する人と、ある程度予測をたて、準備する人がいる。

10年後、自分はこのまま人生を歩むと、どんな後悔をするか、今予測をたてれば10年後の後悔を少なくできるのではないか。

人は過去を見ることができる。ゆえに「賢者は歴史から学ぶ」ということわざは有名である。

## SARTランニングクラブ 上尾シティマラソン参戦！！

東京放射線クリニック 西山 史朗

朝、目が覚めると外は晴れ。「ヨッシャー！」の掛け声と共に布団から飛び起きた。しかしなんか両足に違和感が…。そうか、1週間前に今日のハーフマラソンを想定した練習をしたんだっけ？う～ん、年をとるにつれてあとからやってくる筋肉の悲鳴とはこの事か…。

まあ、少し筋肉痛くらいがちょうどいいなんてポジティブに考えながらいざ会場へ。競技場へ近づくにつれてどんどん人が増えてくる。小さな小学生からおじいちゃんと呼んで差し支えない方々など、参加者がまた一段と増えましたなあ。恐るべしマラソンブーム。やはり、リーマンショック以来、また政権交代以来、あらゆるもの（金、脂肪）を最も削減できるマラソンに人々の注目が集まっている。これは必然か。

さてSARTランニングクラブのメンバーとの挨拶を済ませて、軽いウォーミングアップの後、午前9時55分にハーフの部が号砲と共にスタートした。上尾市長と元オリンピック選手の弘山晴美さんに手を振りながら意気揚々と健脚ランナーが競技場を駆け抜ける。実は、私の地元で開催される上尾シティマラソンには今回8回目の出場である。過去の結果は聞かないで頂きたい。何度あの忌々しいバスに助けられた事か…。近年は無事に完走出来ているので問題ないと思っていた。しかし…スタートしてまもなく前職場の同僚や後輩達に次々と抜かれ、気がつくと17km地点の関門付近で「関門締め切り3分前でーす！」なんて大声でオジサマ達が叫んでいるのではないか。いやあ危なかった。また完走出来なくて、後輩達からチャチャ入れられるところでした。しかし無事完走。もちろん、私がゴールした時には、あったか汁や果物のサービスはすべて終了。自業自得ですね。来年はもっと練習しましょう！

で、恒例の（私は初参加ですが）SARTランニングクラブの打ち上げを開催。シティマラソンに合わせて居酒屋さんも真っ昼間からウェルカム状態。有難う白木屋グループ。しかし、あのキンキンに冷えたジョッキに注いだ生ビールは本当に最高でしたね！4人とも大満足でランニング談議に花を咲かせ大盛り上がりでした。



天気は最高!



川田さん(左)と肥沼代表(右)



内田さん(左)と筆者(右)

次回目標は7月に開催される所沢航空公園 通称「グルメマラソン」8時間耐久レースを計画しています！！自己申告によるラン、8時間内で自分の目標距離を決めて（10kmとか20kmなど）、一緒に走りませんか？周回コースなので毎回エイドステーションで美味しい補給（かき氷・冷やし中華・サンドイッチ・ビール？）が待っています！！興味のある方は是非ご連絡下さい。

（連絡先 肥沼： t-koinuma@sart.jp）

## 平成21年度 第4回理事会議事録（抄）

日 時：平成21年11月4日（水）  
午後6時30分～午後9時00分

場 所：技師会センター

出席者：会 長：小川 清  
副 会 長：堀江 好一、橋本 里見  
監 事：山本 英明  
常任理事：田中 宏、矢部 智、結城  
朋子、松田 恵雄、富田  
博信、中村 正之  
理 事：潮田 陽一、星野 弘、八  
木沢 英樹、肥沼 武司、  
澁市 直紀、長谷川 英治、  
矢崎 一郎、石川 直哉  
顧 問：和田 幸人  
委任状提出者：尾形 智幸、小林 剛、西山 史  
朗  
欠 席：鈴木 正人

### 1 会長挨拶（要旨）

ここ最近寒くなってきました。新型インフルエンザや、季節の変わり目と言うこともあり、体調管理には十分に気をつけてください。

21年度の事業執行状況の確認と22年度の事業計画をお願いします。法人運営は定期的な事業確認が必要になりますのでよろしくお願いいたします。

挨拶に続き小川会長を議長に選出し、平成21年度第4回理事会を開催した。

### 2 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長：小川 清  
議事録署名人：堀江 好一、矢部 智  
議事録作成人：田中 宏と定めた

### 3 報告及び確認事項

#### (1) 会 長（小川）挨拶

ア、NPO法人埼玉乳癌臨床研究グループ（SBCCSG）より「平成22年度乳がん市民フォーラム2010」後援依頼があった。

イ、骨塩定量測定に関するアンケート調査があった。

ウ、9月30日、放射能事故における緊急連絡網の確認用FAXが（社）茨城県放射線技師会から届いた。

エ、レントゲンポスター申込みがあり、20部依頼した。

オ、ヘルシー・フロンティア埼玉県民会議・健康づくりフォーラムの開催

#### カ、表彰関係業務

1) 平成21年度公衆衛生事業功労者に対する埼玉県知事表彰  
塚越 昇氏、斎藤 勝則氏、受賞

2) 平成21年度公衆衛生事業功労者に対する（財）日本公衆衛生協会会長表彰は未定

キ、日本放射線技師会第3回理事会に出席した。

1) 日時：平成21年10月3日（土）

2) 場所：（社）日本放射線技師会 講義室

ク、関東甲信越放射線技師学術大会の件。

1) 北関東地域放射線技師会拡大会長会議へ出席した。

2) 南北関東地域放射線技師会拡大会長会議へ出席した。

ケ、中医協委員に北村日本放射線技師会会長が就任した。

## (2) 副会長 (堀江)

ア、平成21年9月25日(金)北関東地域放射線技師会拡大会長会議に出席した。

27日、関東甲信越放射線技師学術大会 シンポジウム「公益社団法人への道」にてシンポジストとして参加した。以下のような他県からの情報が得られた。

- 1) 会誌に定価が書かれていると収益事業とみなされる。
- 2) 会誌に企業からの広告を掲載すると公益目的事業と認められない可能性がある。

なお、本会が公益認定を受けるには、会誌の発行事業が公益目的事業として認められることが大前提となるため、継続して情報を収集したいと考えている。

イ、第7回公益社団法人改革検討小委員会を開催

- 1) 平成21年10月21日(水) 18:30~21:00
- 2) 会計規定と事業区分について検討をおこなった。
- 3) 次回は11月18日(水) 予定

## (3) 副会長 (橋本)

ア、平成21年度事業計画のマネジメントセミナーは、シリーズ化した継続性のあるセミナーとして企画をする予定。第1回目を平成22年の3月頃予定し、議案書は次回の理事会にて検討する。

イ、会員カードの作成方法を模索中。IT検討委員会でもう少し議論が必要と考えている。

## (4) 総務 (田中)

ア、第3回理事会議事録確認

イ、各地区ごとの会員名簿をCDにて配布。セキュリティは暗号化してあり、次回理事

会12月9日にCDを回収する。

## (5) 総務 (矢部)

ア、役員研修会について

役員研修会として、関東甲信越放射線技師学術大会参加をもって、役員研修会とした。

- 1) 日時：9月26・27日(土・日)
- 2) 会場：タワーホール船堀(東京)
- 3) 参加者：15名
- 4) 宿泊者：13名

イ、日本放射線技師会30年表彰について

国家資格取得後、日本放射線技師会かつ埼玉県放射線技師会に15年以上在籍し会費を完納していることを条件に、対象者23名に案内を郵送し、8名からの申請を受けた。9月30日締め切りまで。

また、会誌・埼玉放技ホームページ上でも広報したが、郵送者以外の申請はなかった。10月15日日本放射線技師会へ郵送した。

ウ、ソフトボール大会について

ソフトボール大会開催に向けて、会員には会誌・ホームページにて、賛助会員へは郵送にて開催案内を行った。10月19日に、賛助会員あてに再通知を行ったところ10社より不参加の連絡を受けた。

参加申し込み状況：13チーム+理事チーム。

準備として、田中達也総務委員に当日の準備を依頼。長谷川理事に傷害保険・お弁当の発注を依頼。

## (6) 編集・情報 (松田)

ア、編集・情報委員会の開催報告

- 1) 平成21年9月8日、第五回の編集・情報委員会を開催した。
- 2) 平成21年9月24日、第六回の編集・情報委員会を開催した。

## イ、埼玉放射線編集関連

- 1) 埼玉放射線につきましては、10月号を10月14日に発行した。
- 2) 今後、10月号の特集記事執筆者へ執筆料の支払いを予定している。
- 3) 次年度広告の依頼を賛助会員各社に発送した。
- 4) 別刷りに関して、望月印刷と値下げ交渉を重ねましたが、改善しないため、普通紙での作成を依頼する。
- 5) 次号埼玉放射線12月号の原稿締め切りは、11月8日です。

## ウ、Webサイトの運営・メールマガジンの配信

- 1) Webサイトの保守管理（コンテンツアップ）を行った。また、メールマガジンからも案内を行った。
- 2) 引き続きメルマガ上からのWebサイトリンク（誘導）を実施している。
- 3) エラーアドレスの整理を実施した。埼玉放技アドレスへの転送が多かった。

## (7) 編集・情報（潮田）

## ア、埼玉放射線2009年第5号発刊にむけての活動

- 1) 第5回編集・情報委員会（2009 No.5 - 1）
  - ①日時：平成21年9月8日 18：30～21：30
  - ②場所：技師会センター
  - ③内容：
    1. 第5号内容説明
    2. 第5号表紙決定
    3. 第5号裏表紙の検討
    4. 次号以降の企画
    5. 校正作業の方法及び予定

## 6. その他

- ④参加者：編集・情報委員8名
- 2) 「埼玉放射線2009年第5号校正依頼」の送信
  - 日時：平成21年9月18日 13：26
- 3) 「埼玉県内における心臓CT検査の現状」執筆者へ執筆者校正の依頼
  - 日時：平成21年9月18日 14：33～18：38
- 4) 第6回編集・情報委員会（2009 No.5 - 2）
  - ①日時：平成21年9月24日 18：30～21：00
  - ②場所：技師会センター
  - ③内容：

1. 初稿校正結果確認
2. 2009年第5号裏表紙写真決定
3. 2009年第6号企画考案
4. その他

- ④参加者：編集・情報委員6名
- 5) 望月印刷へ最終校正後の原稿提出
  - ①日時：平成21年10月2日 18：00

## イ、今後の予定

- 1) 第7回編集・情報委員会（2009 No.6 - 1）
  - ①日時：平成21年11月10日 18：30
  - ②場所：技師会センター
  - ③内容：埼玉放射線 2009年第6号発刊について
- 2) 第8回編集・情報委員会（2009 No.6 - 2）
  - ①日時：平成21年11月26日（予定）18：30
  - ②場所：技師会センター
  - ③内容：埼玉放射線 2009年第6号発刊及び校正について
- 3) 埼玉放射線 2009年第6号発刊日程：平成21年12月11日（予定）

ウ、埼玉放射線 2009年第6号掲載予定内容

(8) 編集・情報 (肥沼)

ア、HPの更新 (\*携帯版含む)

1) 学術案内

- ①第1回CT認定講習会\*
- ②第8回胸部認定講習会\*
- ③第9回上部消化管検査認定講習会\*
- ④第1回放射線治療講習会\*
- ⑤第25回埼玉県放射線技師学術大会\*
- ⑥第11回埼玉臨床画像研究会 (PDF) \*
- ⑦さいたま市健康フェア (一般向けHP)
- ⑧平成21年度日本放射線技師会永年勤続表彰。
- ⑨第23回 結核予防会マンモグラフィ講習会 (PDF)

⑩MRI集中講習会 (PDF) \*

- ⑪第6地区 第2回定期講習会(リンク)\*
- ⑫第2地区 第4回勉強会 (リンク) \*
- ⑬第1地区 第2回勉強会

2) 会告

- ①平成21年度ソフトボール大会
- ②第3地区ボウリング大会\*
- ③第5地区ゴルフ大会\*

3) CGIフォーム

第25回埼玉県放射線技師学術大会 演題申し込みフォームを作成した。

4) 巻頭言

- ①漱石と佐藤氏に学ぶ 2009 4号
- ②会員数減少にみる本会の将来について 2009 5号

イ、メールマガジン

- 1) 登録者名140名 (前回143名)
- 2) メールマガジン発行
- ①no12 (8月26日発行)
- ②no13 (9月15日発行)

③no14 (10月3日発行)

④no15 (10月19日発行)

⑤no16 (10月27日発行)

3) エラーアドレス

①メールマガジン登録者のうち数件の送信エラーが発生するため、埼玉放射線雑誌10月号にエラーアドレスの削除案内を掲載した。

②10月19日にエラーアドレス宛に削除通知を送信後、10月20日にエラーアドレスを削除した。

ウ、レンタルサーバの容量枯渇に関する調査

- 1) 既存レンタルサーバの残容量に関する調査を行った。
- 2) 新規レンタルサーバのコンテンツ移転に関する検討を行った。

(9) 学術 (富田)

ア、9月29日に委員会開催

- 1) 学術大会企画 (具体的)
- 2) 会場の割り当て
- 3) 定期講習会進行状況報告
- 4) 関東部会との合同開催の件 (報告)
- 5) その他

イ、9月29日に委員会開催

学術大会での、公開講座、骨密度測定、被曝相談の会場、時間、導線などを検討

ウ、実行委員会の立ち上げ

- 1) 当日出席できる役員、委員を各理事に集計をお願いしたい。
- 2) 組織図にあてはめ人数、分担把握する。
- 3) 足りないところは各地区役員から招集する。
- 4) 実行委員会を12月までに1回開く (担当責任者会議)

その後2回程度ひらき詳細な打ち合わせをする。

- 5) 実行委員マニュアルを作成する(北関東学術大会を参考に作成: 学術委員会にて行う)

エ、各認定講習会は順調に準備遂行中

オ、各講習会受講者数および進行状況

- 1) CT講習会  
申込者数 40~43名程度
- 2) 胸部認定講習会 23名
- 3) 上部消化管認定講習会19名
- 4) 救急セミナーの報告
  - ①講師: 埼玉医大 小清水先生に依頼
  - ②内容: これだけは知っておきたい事。  
ディスカッション形式(3名程度)
  - ③日程: 1月又は2月の日曜日(半日程度)
  - ④場所: さいたま赤十字病院

#### (11) 財務(結城)

ア、平成21年10月25日現在の会費納入状況を報告した。

イ、平成21年度上半期予算執行状況を報告した。

#### (12) 公益(中村)

ア、第5地区医療画像展に支援参加

- 1) 日時: 9月27日(日) 9:00~15:00
- 2) 場所: 越谷市役所庁舎1階
- 3) 内容: 医療画像展(こしがや市民まつり)
- 4) 公益委員会より常任理事が参加

イ、第3回公益委員会を開催

- 1) 日時: 9月29日(火) 18:30~22:00
- 2) 場所: 技師会センター
- 3) 参加人数: 4名

4) 内容: 埼玉学術大会について

ウ、第1地区 第6地区医療画像展に支援参加

- 1) 日時: 10月4日(日) 10:00~15:00
- 2) 場所: さいたま市スーパーアリーナ1階
- 3) 内容: 医療画像展(さいたま市健康フェア)
- 4) 公益委員会より2名参加

エ、今後の予定

1) 平成21年度ヘルシーフロンティア参加

- ① 日時: 11月30日(月) 11:00~
- ② 場所: 埼玉県県民健康センター 大ホール
- 2) サーベイメータ校正

#### (13) 公益(星野)

ア、漏洩線量測定

- 1) 中央区役所保健センター(さいたま市) 9月1日(火) No.10
- 2) さいたま市療育センター さくら草(さいたま市) 9月1日(火) No.11
- 3) 国立障害者リハビリテーションセンター(所沢市) 9月8日(火) No.12
- 4) 帯津三敬病院(川越市) 10月1日(金) No.13
- 5) 八王子クリニック(八王子市) 10月18日(日) No.14
- 6) 八王子クリニック新町(八王子市) 10月18日(日) No.15
- 7) 秩父市立病院(秩父市) 10月24日(土) No.16

イ、今後の予定

- 1) 埼玉みさと総合リハビリテーション病院(三郷市) 11月7日(土) No.17
- 2) 新越谷病院(越谷市) 11月7日(土)

No.18

3) 本郷整形外科・皮膚科 (さいたま市)

11月7日 (土) No.19

(14) 第一地区 (八木沢)

ア、第2回地区委員会

1) 日時：平成21年10月8日 (木) 19:00  
~20:30

2) 場所：埼玉社会保険病院 第1会議室

3) 内容：平成21年度第2回地区勉強会に  
ついて

4) 参加人数6名

イ、今後の予定

1) 第2回第1地区勉強会

①日時：平成21年11月25日 (水) 19:00~  
21:00

②場所：さいたま市立病院 2F サービス  
棟会議室

③内容：発表予定：「当院での3TMRIの  
使用経験」

さいたま市立病院 佐藤 吉海

「1.5TMRIの下肢血管非造影検査について」

済生会川口総合病院 浜野 洋平

「当院における乳腺1.5TMRI検査について」

埼玉社会保険病院 芦荻 雄一郎

メーカー紹介：「MRIとCTを中心とした3D  
ワークステーション」

ボリュームアナライザーSYNAPSE VINCENT  
(株) 富士フィルムメディカル 埼玉支社 藤倉  
可奈

装置見学会：3TMRIの見学

2) 第3回勉強会

①日時：平成22年2月23日~3月6日予定

②場所：埼玉県済生会川口総合病院

③内容：総会、特別講演、メーカー紹介、  
等

ウ、第8回さいたま市健康フェアに参加

①日時：平成21年10月4日 (日) 10:00~  
15:00

②場所：スーパーアリーナ1階 展示ホー  
ル

③参加団体：保健関係団体、さいたま市  
(19団体が参加)

④実施内容：無料超音波骨密度測定、被ば  
く相談、放射線検査のポス  
ター等

骨密度測定者348人

⑤第1、6地区合同参加 参加役員15名

(15) 第二地区 (肥沼)

ア、第3回勉強会打ち合わせ

1) 日時：平成21年9月7日 (月) 18:30  
~

2) 場所：圏央所沢病院

3) 人数：4名

イ、第3回勉強会

1) 日時：平成21年9月18日 (金) 18:30  
~

2) 場所：圏央所沢病院

3) 参加人数：40名

4) 内容：施設見学

①「1.5T MRI装置の最新技術」 日立メ  
ディコ 市川真仁 氏

②放射線科の紹介 ~24時間救急体制、  
フィルムレス環境に関して ~ 圏央所  
沢病院 放射線科 主任 吉澤康宏 様

③圏央所沢病院 放射線科 施設見学

ウ、役員会

1) 日時：平成21年10月20日 (火) 18:30  
~

2) 場所：国立障害者リハビリセンター

3) 内容：地区運営検討と事業確認を行っ

た。

4) 参加者：7名

エ、第8回市民公開講座準備

- 1) 9月7日に西埼玉中央病院にて整形外科と面会した。
- 2) 10月30日に講師依頼状発行依頼書類を技師会センターへメールした。
- 3) 所沢市・所沢市医師会に後援を依頼した。
- 4) ポスターを作製した。

オ、今後の予定

- 1) ソフトボール大会参加
  - ①日時：平成21年11月8日
  - ②会場：東京石油健保組合東松山グラウンド
  - ③参加：2地区1チーム18名（応援含む）
- 2) 所沢市健康まつり
  - ①日時：平成21年11月8日
  - ②会場：所沢市保健センター
- 3) 役員会
  - ①日時：平成21年11月12日（木）18：30～
  - ②場所：国立障害者リハビリセンター
  - ③内容：会誌発行
- 4) 第4回勉強会
  - ①日時：平成21年11月20日（金）18：30～
  - ②会場：所沢市保健センター 3F
  - ③内容：症例検討「マンモグラフィ～男性技師の接遇～」  
原田病院 放射線科 瀧澤誠  
基礎講演「急性腹症 CTの見方」  
埼玉県済生会川口総合病院 放射線技術科 富田博信
- 5) 忘年会
  - ①日時：平成21年12月4日（金）19：00～
  - ②会場：東部サロン
- 6) 第8回公開講座打ち合わせ

12月中に会場職員とタイムスケジュール等の打ち合わせ予定

(16) 第三地区（澁市）

ア、第23回 川越健康まつり 第2回実行委員会

- 1) 日時：平成21年10月1日（木）
- 2) 場所：川越総合保健センター 川越市小ヶ谷817-1
- 3) 参加人数：理事 澁市 直紀 1名

イ、ボーリング大会

- 1) 日時：平成21年10月21日（水）19：00～
- 2) 場所：川越ボーリングセンター 川越市天沼新田318 TEL：049-231-3681
- 3) 参加人数：23名（+理事 1名、役員 1名）

ウ、平成21年度 第2回 第三地区 役員会

- 1) 日時：平成21年10月21日（水）20：15～
- 2) 場所：川越ボーリングセンター 川越市天沼新田318 TEL：049-231-3681
- 3) 参加人数：地区役員 4名 理事1名
- 4) 内容：川越市健康まつりの参加要項について

第2回勉強会について 「日時11月26日19時～決定と内容検討」

新年会について 担当役員決め

第3回勉強会について 担当役員決め

エ、今後の予定

- 1) 川越市健康まつり 設営準備
  - ①日時：平成21年11月7日（土）13：00～
  - ②場所：川越総合保健センター 川越市小ヶ谷817-1
- 2) 川越市健康まつり

- ①日時：平成21年11月8日（日）8：30～
- ②場所：川越総合保健センター 川越市  
小ヶ谷817-1
- ③催し：『あなたのための医療画像展』
- 3) 第2回 勉強会開催

- ①日時：平成21年11月26日（木）19：00～
- ②場所：埼玉医科大学国際医療センター  
日高市山根1397-1
- ③内容：担当役員と試案中

(16) 第四地区（長谷川）

ア、地区勉強会

- ①日時：平成21年9月17日（木）
- ②場所：熊谷市文化創造館 さくらめいと
- ③注腸検査におけるニフレック・ガスモチン法での使用経験

筑波メディカルセンター病院  
竹林 浩孝氏  
注腸検査における前処置の重要性  
深谷赤十字病院 中山 進 氏

- ④参加者 53名

イ、地区役員会

- ①日時：平成21年9月17日（木）
- ②参加：7名
- ③内容：深谷市健康まつり 医療画像展について

ウ、深谷市健康まつりにて 医療画像展開催

- ①日時：平成21年10月25日
- ②実行委員長 齊藤 幸夫 深谷赤十字病院  
長谷川英治 羽生総合病院  
山田 伸司 小川赤十字病院  
山崎由紀敏 東松山市立市民病院  
尾川 光弘 熊谷総合病院  
吉田 真一 秩父病院  
萩原 貴之 行田中央総合病院  
小林 茂幸 深谷赤十字病院

- 桐生 幸恵 深谷赤十字病院
- 富田 欣治 深谷赤十字病院
- 田中 達也 小川赤十字病院
- 江守亜矢子 小川赤十字病院
- 近藤 和彦 秩父病院
- 大野 渉 羽生総合病院

その他協力 富士フィルムメディカル(株) 2名  
コニカミノルタヘルスケア(株) 1名

- ③来場者 約200名 骨密度測定 173名

エ、今後の予定

1) 地区勉強会

- ①日時：平成21年11月12日（木）
- ②場所：埼玉県立循環器・呼吸器病センター
- ③講師：埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
平野幸夫氏  
高橋彩子氏

- ③施設見学：256ch CT見学会

2) 地区役員会

平成21年11月中旬頃

3) 第4地区忘年会

平成21年12月上旬頃

(17) 第五地区（矢崎）

ア、越谷市民祭り事業室会議

- 1) 日時：平成21年9月15日（火）14：00～
- 2) 場所：越谷中央公民館
- 3) 内容：医療画像展の参加について
- 4) 人数：1名

イ、地区役員会

- 1) 日時：平成21年9月18日（金）18：30～
- 2) 場所：獨協医科大学越谷病院
- 3) 内容：越谷市民祭り準備、地区総会、勉強会の打ち合わせ等

- 4) 人数：7名
- ウ、越谷市民祭り
- 1) 日時：平成21年9月27日（日）9：00～15：00
- 2) 場所：越谷市役所内
- 3) 内容：医用画像展（パネル展示、小冊子配布、骨密度測定、3DWS操作）
- 4) 実行委員：7名（協力アミン1名）  
 大嶋 健吾 獨協医科大学越谷病院  
 中村 正之 獨協医科大学越谷病院  
 上田 圭二 獨協医科大学越谷病院  
 鈴木 孝 済生会栗橋病院  
 栗田 幸喜 済生会栗橋病院  
 金子 初穂 春日部市立病院  
 矢崎 一郎 春日部市立病院
- 5) 医療画像展来場者：約300人
- 6) 骨密度測定：288名
- エ、第5地区ゴルフ大会
- 1) 日時：平成21年11月3日（火）
- 2) 場所：千葉カントリークラブ北越谷パブリックコース
- 3) 参加人数 20名
- オ、今後の予定
- 1) 地区役員会  
 日時：平成21年11月27日（金）
- 2) 地区総会  
 日時：平成22年2月 予定
- 3) 地区勉強会  
 日時：平成22年2月 予定
- (18) 第六地区（石川）
- ア、平成21年度 第3回地区役員会・地区会報『Lock ON』第2号発行
- 1) 日時：平成21年9月10日（木）
- 2) 場所：さいたま赤十字病院
- 3) 内容：地区会報『Lock ON』第2号発行
- 4) 参加人数：8名
- イ、第8回さいたま市健康フェア
- 1) 日時：平成21年10月4日（日）
- 2) 場所：さいたまスーパーアリーナ
- 3) 参加人数：3名
- ウ、今後の予定
- 1) 平成21年度 第二回定期講習会
- ①内容：テーマ1 『診療放射線技師の読影について』  
 講師：丸山記念総合病院 医療技術部 芦葉 弘志様
- テーマ2 『3Dワークステーション SYNAPSE VINCENTについて』  
 講師：富士フィルムメディカル ITソリューション事業本部 事業推進部 事業企画グループ 杉田 匡之様
- ②日時：平成21年11月12日（木）19：00～
- ③場所：さいたま赤十字病院 本館5階 第三会議室
- 2) 第六地区忘年会
- ①日時：平成21年11月27日（金）
- ②場所：「酒庵 梟」 東口店 19：00～
- 4 審議・承認事項
- (1) 平成21年度ヘルシー・フロンティア埼玉県民会議における展示パネル作成の件につき審議し、承認した。（議案書番号：理－57）（承認）
- (2) 電離箱サーベイメータ点検校正に関して審議した。見積もりはALOKAのみであったが、他社との相見積もりの上、期間、内

容、金額を考慮し決定すべきことを条件とし承認した。

(議案書番号：理-58) (一部修正承認)

- (3) 学術大会における骨粗鬆症についての講師を東洋メディック 吉岡氏にお願いすることを審議し、承認した。(議案書番号：理-59) (承認)
- (4) 新入会員に付審議し、承認した。(議案書番号：理-60) (承認)
- (5) 平成22年 『新春の集い』の開催について、参加費及び、優待券作成につき審議した。優待券は地区理事に配布をお願いし、本会HPからダウンロード可能とするが、会誌には掲載しないということで承認した。(議案書番号：理-61) (承認)
- (6) 会費滞納者について退会通知書を会員本人に郵送し、返答がなかったため退会処理を行った後に会員より会費全額納入があった。本人より、会員籍を継続して欲しい旨の嘆願があったために、会員籍の継続につき審議し、特例として承認した。(議案書番号：理-62) (承認)
- (7) 埼放技Webサイト(レンタルサーバ)の更新計画について、移行期間を含め更新のための新領域を平行でレンタルしたい旨を審議し、承認した。(議案書番号：理-63) (承認)
- (8) 学術大会で座長、シンポジストにUSBなどの数百円程度の記念品を贈呈する件につき審議し、承認した。(議案書番号：理-64) (承認)

## 5 顧問講評

- ア 議案書番号：理-58では、必ずしも安い見積もりの会社が良いわけではなく、決定する際の理由が大切である。
- イ 議案書番号：理-62では、次回本人が同じことを行った場合には、規定通りの手続きを行ってほしい。

## 6 監事講評

活発な議論であった。

報告事項および承認審議事項を確認し、次回理事会の日程を決定し閉会となった。

次回、平成21年度 第5回理事会予定 平成21年12月9日(水)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務・財務資料
- (4) 編集・情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料
- (7) ホームページ資料
- (8) 各地区資料(第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、第六地区)
- (9) 議案書
- (10) 平成21年10月25日会費納入状況

地 区	会員数	納入者数	未納者数	納入率(%)	前年度納入率(%)
埼玉会員	1174	931	238	79.3	80.6
第一地区	183	137	41	74.9	84.2
第二地区	128	101	27	78.9	79.0
第三地区	219	157	62	71.7	71.3
第四地区	232	202	30	87.1	87.7
第五地区	171	133	38	77.8	79.7
第六地区	241	201	40	83.4	80.9



## 会員の動向 (平成21年11月30日現在)

平成21年12月9日承認

事由	会員番号	氏名	施設名	地区
新入会	55749	國吉 涉	厚生連幸手総合病院	5
新入会	55718	中城 辰也	武蔵台病院	2
新入会	55734	小高 英彦	医療法人 博療会 佐瀬病院	2
新入会	55726	富樫 清孝	済生会川口総合病院	1
新入会	55723	清末 真央	イムス富士見総合病院	3
埼玉新入会	80044	南 勇輔	埼玉医科大学病院	3
埼玉新入会	80045	林 洋希	埼玉医科大学病院	3

前回会員数1210

会員数	1217名	7名増加
新入会員	7名	今年度累計42名
再入会	0名	今年度累計2名
転入	0名	今年度累計2名
転出	0名	今年度累計3名
退会	0名	今年度累計5名

### お詫び

埼玉放射線における誤記に関して

2009・12月号 第57巻 第6号 通巻210号 488 (61) 頁において、以下の誤りがありました。お詫びをし、訂正させていただきます。

誤：第34回ソフトボール大会報告 総務担当 田中 達也

正：第34回ソフトボール大会報告 総務担当常任理事 矢部 智



社団法人 埼玉県放射線技師会

平成21, 22年度役員名簿

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
会 長	小川 清	小川赤十字病院	0493-72-2333	k-ogawa@sart.jp
副 会 長	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副 会 長	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
常任理事(総務)	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
常任理事(総務)	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
常任理事(財務)	結城 朋子	済生会栗橋病院	0480-52-3611	t-yuuki@sart.jp
常任理事(編集・情報)	松田 恵雄	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3804	s-matsuda@sart.jp
常任理事(学術)	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常任理事(公益)	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
理 事(学術)	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
理 事(学術)	西山 史朗	東京放射線クリニック	03-3529-5420	s-nishiyama@sart.jp
理 事(学術)	小林 剛	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	t-kobayashi@sart.jp
理 事(編集・情報)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
理 事(公益)	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
理事(総務)第一地区	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
理事(編集・情報)第二地区	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(総務)第三地区	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
理事(総務)第四地区	長谷川英治	羽生総合病院	048-562-3000	e-hasegawa@sart.jp
理事(総務)第五地区	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六地区	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
渉外マネージャー	石栗 一男	蓮田 一心会病院	048-764-6411	k-ishiguri@sart.jp

監事・顧問

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
監 事	山本 英明	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-yamamoto@sart.jp
監 事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧 問	和田 幸人	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	y-wada@sart.jp

役 職 名	氏 名	勤 務 先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
副委員長	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
副委員長	結城 朋子	済生会栗橋病院	0480-52-3611	t-yuuki@sart.jp
委員	堀江 好一	社会保険大宮総合病院	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	橋本 里見	埼玉社会保険病院	048-832-4951	s-hashimoto@sart.jp
委員	八木沢英樹	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
委員	澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4192	n-shibuichi@sart.jp
委員	長谷川英治	羽生総合病院	048-562-3000	e-hasegawa@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	石川 直哉	指扇病院	048-623-1101	n-ishikawa@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-yanaka@sart.jp
委員	岡田 義和	埼玉県健康づくり事業団	048-859-5173	y-okada@sart.jp
委員	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
委員	千田 俊秀	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	t-chida@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副委員長	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
副委員長	西山 史朗	東京放射線クリニック	03-3529-5420	s-nishiyama@sart.jp
副委員長	小林 剛	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	t-kobayashi@sart.jp
副委員長	石栗 一男	蓮田 一心会病院	048-764-6411	k-ishiguri@sart.jp
委員	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-758-1811	h-tanaka@sart.jp
委員	塚田 高志	アジュール竹芝総合健診センター	03-3437-2701	t-tsukada@sart.jp
委員	越沼 沙織	済生会 習志野総合病院	047-473-1281	s-koshinuma@sart.jp
委員	村田 光俊	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	mi-murata@sart.jp
委員	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	松田 恵雄	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3804	s-matsuda@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
副委員長	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	村田 雅弘	小川赤十字病院	0493-72-2333	m-murata@sart.jp
委員	富田 欣治	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-tomita@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	江守 亜矢子	小川赤十字病院	0493-72-2333	a-emori@sart.jp
委員	阿野 匡昭	埼玉社会保険病院	048-832-4951	m-ano@sart.jp
委員	川田 俊彦	埼玉社会保険病院	048-832-4951	t-kawata@sart.jp
委員	柳田 智	北里大学北里研究所メディカルセンター病院	048-593-1212	s-yanagita@sart.jp
委員	白石 圭	伊奈病院	048-721-3692	k-shiraishi@sart.jp
委員	柏 達司	塩味病院	048-467-0016	t-kashiwa@sart.jp
委員	市川 隆史	埼玉医科大学病院	049-276-1264	t-ichikawa@sart.jp
委員	諏訪 和明	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	k-suwa@sart.jp
委員	栗田 裕樹	佐々木病院	048-571-0242	y-kurita@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中村 正之	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	m-nakamura@sart.jp
副委員長	星野 弘	埼玉社会保険病院	048-832-4951	h-hoshino@sart.jp
委員	磯田 一巳	所沢市市民医療センター	04-2992-1170	k-isoda@sart.jp
委員	太田 良平	埼玉社会保険病院	048-832-4951	r-ota@sart.jp
委員	工藤 安幸	東松山市立市民病院	0493-24-6111	y-kudoh@sart.jp
委員	長谷部和仁	豊岡第一病院	04-2964-6311	k-hasebe@sart.jp
委員	大嶋 健悟	獨協医科大学越谷病院	048-965-1111	k-oshima@sart.jp

1. 投稿の資格
  - 1) 診療放射線技師の原則として、(社)埼玉県放射線技師会会員に限る。
  - 2) 診療放射線技師でない執筆者は、その限りでない。
2. 投稿の種類
 

原著論文、総説、誌上講座、資料、学会特集、その他とする。  
但し、原著論文については未発表のものに限る。  
その他については、3200字以内とする。
3. 投稿論文の採否
 

投稿論文の採否は、編集情報委員会で決定する。原著論文、総説、誌上講座、資料の審査には査読制を採用する。掲載は、原則として採用順とする。
4. 投稿の方法
 

原著論文、総説、誌上講座、資料その他を電子メールに添付する。  
原稿作成に使用するファイルは限定をしないが、可能であればテキスト形式に変換したファイルを添付すること。
5. 原稿の記載方法
  - 1) 表紙：①論文表題 ②全著者名 ③施設名・所属
  - 2) 本文：①和文要旨(400字以内、キーワード5個以内)
    - ②緒言、使用機種、対象・方法、結果、考察、結語の順に記載する。
    - ③原稿は、和文または英文とする。英文の場合は、英文要旨も添付する。  
ワードプロセッサによる原稿を原則とし、A4判縦置き、20字×20字(横書き)にて30枚以内とし、図表1枚を用紙1枚とみなす。
  - 3) 図・表：別紙に番号を付して添付し、本文中に挿入位置を記す。図、写真は、直接製版できるものとする。
  - 4) 文献：引用文献は、本文の終わりに引用順に記す。表記形式は、下記のとおりとする。尚、著者名は筆頭者から3名までとし、それ以上は、和文文献の場合「他」、英文文献の場合は「et al」とする。
    - ①雑誌の記載法  
著者名：表題、雑誌名(省略形)、巻、初項～終項、発行年(西暦)
    - ②単行本の記載法  
著者名：表題、書名(版)、発行所、発行地、発行年(西暦)、初項～終項
  - 5) 学会特集については、専用の用紙を用い、その他については可能な限り、上記の手順に基づくものとする。
6. 校正
 

原著論文、総説、誌上講座、資料の執筆校正は初稿のみとし、直接筆頭者に送付する。7日以内に校正の上返送すること。
7. 別刷
 

原著論文、総説、誌上講座、資料に限り20部まで本会負担とする。追加分の別刷は有償とし10部単位で著者負担する。その際に別紙に表題と希望部数、別刷送付先を明記すること。
8. その他
 

投稿規程は理事会の議を経て改変することがある。
9. 原稿の送り先
 

封書に「原稿在中」と朱色で明記すること。  
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
社団法人 埼玉県放射線技師会 編集情報委員会宛  
E-mail: hensyu@sart.jp
10. 問い合わせ
 

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 松田恵雄  
電話049-228-3804 E-mail: s-matsuda@sart.jp

平成 21 年度

埼玉県放射線技師会  
日本放射線技師会

年間スケジュール表

平成21年度 (10-12) 予定 (案)											
10月		埼玉放技	日放技等	11月		埼玉放技	日放技等	12月		埼玉放技	日放技等
木	1		MR学会 (横浜)	日	1			火	1		
金	2			月	2			水	2	常任理事会5	
土	3			火	3			木	3		
日	4			水	4	理事会4		金	4		
月	5			木	5			土	5		
火	6			金	6			日	6		
水	7	常任理事会4		土	7			月	7		
木	8			日	8			火	8		
金	9			月	9			水	9		
土	10			火	10			木	10		
日	11			水	11			金	11		
月	12			木	12			土	12		
火	13			金	13			日	13		
水	14			土	14			月	14		
木	15			日	15			火	15		
金	16			月	16			水	16	法人改革検討会議(最終)	
土	17			火	17			木	17		
日	18			水	18	法人改革検討会議8		金	18		
月	19			木	19			土	19		
火	20			金	20			日	20		
水	21	法人改革検討会議7		土	21			月	21		
木	22			日	22			火	22		
金	23			月	23			水	23		
土	24			火	24			木	24		
日	25			水	25			金	25		
月	26			木	26			土	26		
火	27			金	27			日	27		
水	28	常任連絡会4		土	28			月	28		
木	29			日	29			火	29		
金	30			月	30			水	30		
土	31							木	31		

平成21年度 (1-3) 予定											
1月		埼玉放技	日放技等	2月		埼玉放技	日放技等	3月		埼玉放技	日放技等
金	1			月	1			月	1		
土	2			火	2			火	2		
日	3			水	3	理事会5		水	3	理事会6	
月	4			木	4			木	4		
火	5			金	5			金	5		
水	6	常任理事会6		土	6			土	6		
木	7			日	7			日	7		
金	8			月	8			月	8		
土	9			火	9			火	9		
日	10			水	10			水	10		
月	11			木	11			木	11		
火	12			金	12			金	12		
水	13			土	13			土	13		
木	14			日	14			日	14	埼玉放射線学術大会	
金	15			月	15			月	15		
土	16			火	16			火	16		
日	17			水	17			水	17		
月	18			木	18			木	18		
火	19			金	19			金	19		
水	20			土	20			土	20		
木	21			日	21			日	21		
金	22			月	22			月	22		
土	23			火	23			火	23		
日	24			水	24	常任連絡会6		水	24		
月	25			木	25			木	25		
火	26			金	26			金	26		
水	27	常任連絡会5		土	27			土	27		
木	28			日	28			日	28		
金	29							月	29		
土	30							火	30		
日	31							水	31		

第1回CT認定講習会

## セミナー申込書

受信者	FAX番号:048-664-2733 (社)埼玉県放射線技師会
送信者	氏名 _____ 施設名 _____ 〒 _____ 施設住所 _____

下記のとおり送信いたしますので、よろしくお願いいたします。

参加申込者氏名	1) _____ 2) _____ 3) _____ 4) _____
勤務先名	_____
勤務先住所	_____
勤務先電話番号	_____
勤務先 FAX 番号	_____
技師会番号	1) _____ 2) _____ 3) _____ 4) _____

送付先: 〒330-0038

さいたま市北区宮原町 2-51-39 (社)埼玉県放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

会員異動届

ファックス送信票

下記のとおり送信いたしますので、よろしく願いいたします。

受信者	FAX番号：048-664-2733 (社) 埼玉県放射線技師会
送信者	氏 名 _____
	施 設 名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

\* 郵送の場合

〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2 丁目51番地39  
社団法人 埼玉県放射線技師会  
電話：048-664-2728

(社団法人) 埼玉県放射線技師会  
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		地区名	地区
技師会番号			

①転出者は正確にご記入下さい			
転出先	( ) 県へ転出	技師会費を ( )	年度まで納入
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入下さい	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	地区変更	第 ( ) 地区を第 ( ) 地区に	
連絡先変更			

## 広告協賛会社一覧（順不同）

No.	会社名	郵便番号	住所	電話
1	株式会社メディカル・サービスT&K	362-0001	上尾市上1710-3	048-777-7021
2	株式会社日立メディコ北関東支店	330-0845	さいたま市大宮区仲町2-75大宮フコク生命ビル5F	048-643-1487
3	第一三共株式会社埼玉支店	350-1123	川越市脇田本町15-10三井生命川越駅前ビル4F	049-241-5611
4	長瀬ランダウア株式会社	300-2686	茨城県つくば市諏訪C22街区1	029-839-3322
5	(株)エルクコーポレーションさいたま営業所	331-0812	さいたま市北区宮原町3-537-1	048-663-2221
6	ケアストリームヘルス株式会社	104-0032	東京都中央区八丁堀2-21-6	03-5540-2692
7	バイエル薬品株式会社	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-75-1太陽生命大宮吉敷町ビル7F	048-640-6027
8	日本メジフィジックス株式会社関東支店第一営業所	136-0075	東京都江東区新砂3-14-10	03-5634-7450
9	富士フイルムメディカル株式会社 埼玉営業所	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-240	048-645-6001
10	堀井薬品工業株式会社東京北営業所	331-0804	さいたま市北区土呂町2-44-18	048-663-9491
11	株式会社カイゲン大宮営業所	337-0003	さいたま市見沼区春岡1-6-5	048-686-0711
12	伏見製薬株式会社東京営業所	164-0013	東京都中野区弥生町2-41-5	03-5328-7801
13	エーザイ株式会社埼玉医薬五部	330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-11-7 東通ビル5F	048-647-9961
14	東洋メディック株式会社	162-0813	東京都新宿区東五軒町2-13	03-3268-0021
15	GEヘルスケア・ジャパン(株)	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-313-2	048-658-3450
16	三田屋商事(株)	171-0051	東京都豊島区長崎1-27-1	03-5995-6789
17	富士製薬工業株式会社	102-0094	東京都千代田区紀尾井町3-19	03-3264-2211
18	(株)島津製作所	604-8511	京都市中京区西ノ京桑原町1	075-823-1111
19	富士フイルムRIファーマ株式会社東京第二支店	104-0031	東京都中央区京橋2-13-10京橋MIDビル	03-5250-2631
20	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン メディカルシステムズ	330-0802	さいたま市大宮区宮町2-96-1三井生命大宮宮町ビル5F	048-640-1198
21	株式会社ケー・アイ・シー・メディカルシステム	350-0165	埼玉県比企郡川島町中山2109-1	049-297-5130
22	東芝メディカルシステムズ株式会社	331-8701	さいたま市北区土呂町1-45-10	048-651-9290
23	コニカミノルタヘルスケア株式会社	330-0844	さいたま市大宮区下町1-42-2NQビル6F	048-631-1505
24	タイコヘルスケアジャパン株式会社	158-0097	東京都世田谷区用賀2-39-11用賀STビル4階	03-5711-2800
25	日本放射線防禦株式会社東京支店	113-0033	東京都文京区本郷2-38-12	03-3811-1158

# 広告索引

## 造影剤関係

第一三共株式会社	4
タイコヘルスケアジャパン株式会社	3
堀井薬品工業株式会社	12
株式会社カイゲン	8
エーザイ株式会社	13
伏見製薬株式会社	13
富士製薬工業株式会社	7
バイエル薬品株式会社	8

## アイソトープ関係

富士フィルム RI ファーマ株式会社	2
日本メジフィジックス株式会社	12

## フィルム関係

コニカミノルタヘルスケア株式会社	5
株式会社エルクコーポレーション	7
ケアストリームヘルス株式会社	10
富士フィルムメディカル株式会社	11

## 機器関係

株式会社メディカル・サービス T & K	1
株式会社日立メディコ	3
東芝メディカルシステムズ株式会社	2
東洋メディック株式会社	9
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	6
三田屋商事株式会社	10
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ	1
株式会社島津製作所	6
株式会社ケー・アイ・シー・メディカルシステム	9

## 測定関係

長瀬ランダウア株式会社	15
-------------	----

## 施設工事関係

日本放射線防禦株式会社東京支店	14
-----------------	----

# Point-of-Care CR Systems

CR120, 140 and 260

# NEW!

スペースをとらない  
デジタルX線画像システム

現像液の  
臭いが無い

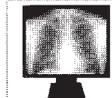
簡単操作で  
手間いらず

患者さんへの説明を  
スマートに行える

## もっと身近に、デジタルX線画像

- X線撮影数に応じて選べる3タイプ。  
 CR120  CR140  CR260
- 高画質のデジタルX線画像をご提供。
- 院内業務をトータルに省略化。

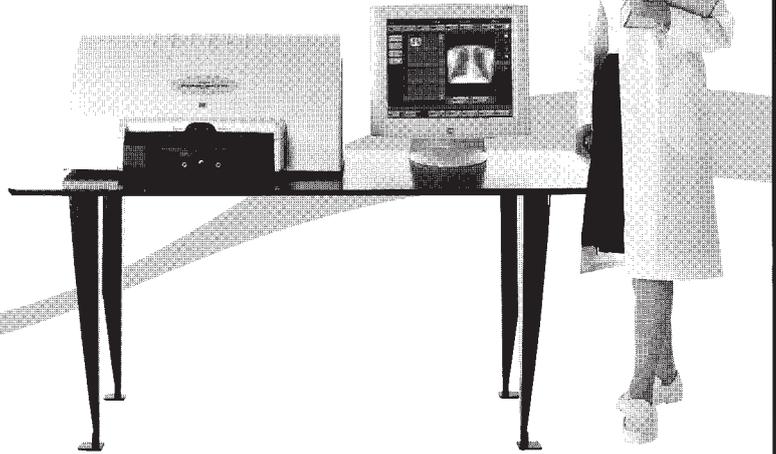
デジタルの可能性を  
広げる多彩な  
オプション



医療用ワークステーション/  
オプション



専用カート/オプション



株式会社 **メディカル・サービス T & K**

E-mail: tandk@est.hi-ho.ne.jp

本店 〒331-0052 埼玉県さいたま市三橋6-1645-1  
☎ 048(623)8684 FAX: 048(625)1410

営業部 〒362-0001 埼玉県上尾市上1710-3  
☎ 048(777)7021 FAX: 048(777)7023

経営管理 〒362-0014 埼玉県上尾市本町2-4-15  
本部

KODAKは、イーストマン・コダック社の米国における登録商標です。

# Kodak

コダック株式会社 ヘルス事業部

東京 〒104-0033 東京都中央区新川2-27-1 東京住友ツインビル東館  
☎ (03)5540-2260



## Brilliance CT 64 / Brilliance CT 40

全身用X線ボリュームCT装置

Brilliance、想像を超える新しいきらめき。

Brighter than ever

製造販売元

株式会社 **フィリップス エレクトロニクスジャパン**  
**メディカル システムズ**

本社：〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル お客様窓口 0120-556-494  
www.medical.philips.com/jp/

販売名:ブリリアンスCT Powerシリーズ 医療機器認証番号:216008ZY00205000 設置管理医療機器 特定保守管理医療機器

# PHILIPS

sense and simplicity

FUJIFILM

放射性医薬品/  
骨疾患診断薬・  
脳腫瘍及び脳血管障害診断薬

指定医薬品・処方せん医薬品<sup>※</sup> 注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

# テクネ<sup>®</sup> MDP 注射液/キット

放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液

薬価基準収載

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル TEL.03(5250)2620  
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

2007年4月作成

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

MULTI  
ACCESS  
ARM

マルチアクセス  
アーム搭載

Infinix *Celeve-i*<sup>™</sup>

X線循環器診断システム INFX-8000V

東芝メディカルシステムズ株式会社

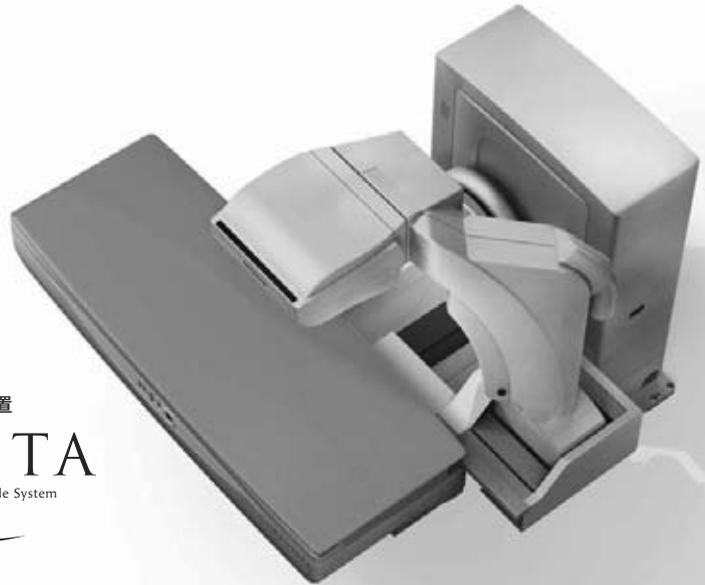
本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地  
http://www.toshiba-medical.co.jp

X線循環器診断システム Infinix Celeve-i INFX-8000V  
【認証番号】218ACBZX00001000

患者さんにやさしく安心な検査・術式的环境は、広く上質なワークスペースから生まれます。

# Offset open design

スライド機構付きのフラットなオフセットテーブルと  
従来の長手動に横手動を加えた2ウェイアームにより、  
広いワークスペースを生み出しました。  
使いやすく、患者さんにも負担の少ない検査・術式が可能です。



FPD専用X線透視撮影装置  
**CUREVISTA**  
Digital X-ray Radiographic/Fluoroscopic Table System

[www.hitachi-medical.co.jp](http://www.hitachi-medical.co.jp) 株式会社日立メディコ

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX

「オプチレイ<sup>®</sup>」は、タイコ ヘルスケア ジャパンの造影剤です。

# Optiray<sup>®</sup>

世界52カ国で販売しております。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉  
指定医薬品/処方せん医薬品\* 薬価基準収載

オプチレイ<sup>®</sup> 160・240  
320・350  
オプチレイ<sup>®</sup> 240・320  
シリンジ

\*注意一医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

**タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社**

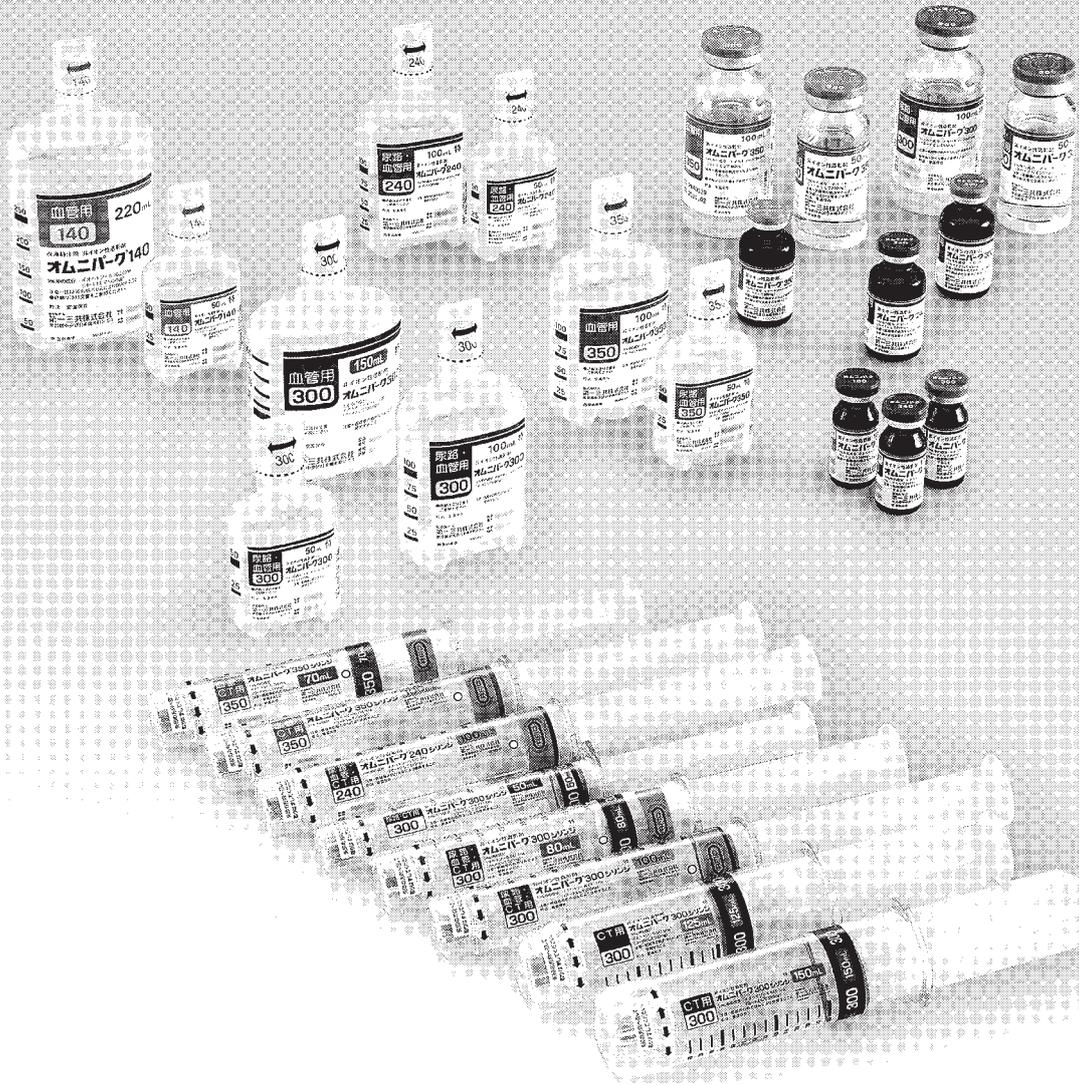
®を付記した商標はタイコヘルスケアジャパン株式会社  
又はその関連会社の商標です。  
©2008 Tyco Healthcare Japan Inc.  
or its affiliates. All right reserved.

〈資料請求先〉〒158-8615 東京都世田谷区用賀4-10-2  
イメージング事業部専用フリーダイヤル ☎0120-011-602

0812 A4-1/2



# OMNIPAQUE



非イオン性造影剤

指定医薬品、処方せん医薬品\*

薬価基準収載

# オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

**140 180 240 300 350**

**240シリンジ 300シリンジ 350シリンジ**

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

- 140 (血管用) 50mL、220mL
- 240 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
- 300 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL  
(血管用) 150mL
- 350 (尿路・血管用) 20mL、50mL  
(血管用) 100mL
- 240シリンジ (尿路・血管・CT用) 100mL
- 300シリンジ (尿路・CT用) 50mL  
(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL  
(CT用) 125mL、150mL
- 350シリンジ (血管・CT用) 70mL、100mL
- 180 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 240 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 300 (脊髄用) 10mL

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



Daiichi-Sankyo

## 第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

「PLAUDR」<sup>フラウディア</sup>誕生。  
コニカミノルタが提案する  
待望の高画質最高峰DR



立位タイプ  
C30

臥位タイプ  
C50

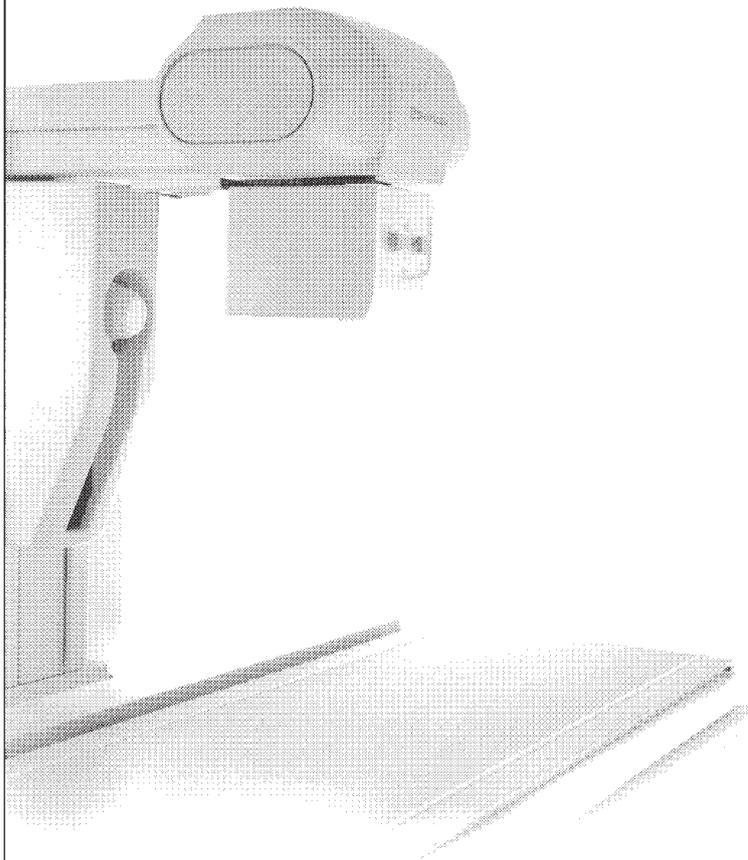
- 高品質シンチレータ「CsI」採用のフラットパネルディテクタと更なる最適化された画像処理との融合で「高画質」を提供します。
- 高いDQEの実現と少ないX線被ばく量で、診断能の高い画像を提供します。
- 撮影後表示時間は「約5秒」、サブパネルにも同時表示する即時性で効率価値を高める「ワークフローの実現」を提供します。
- 医療現場にふさわしい「優しさ」と医療機器にふさわしい「清潔感」をスタイリングコンセプトとし、患者さまの負担を軽減した「操作性」を提供します。

DIGITAL RADIOGRAPHY

# PLAUDR C30 C50

製造販売元: コニカミノルタ エムジー株式会社

販売元: コニカミノルタ ヘルスケア株式会社 191-8511 東京都日野市さくら町1番地 TEL (042) 589-1439 (代) <http://konicaminolta.jp/healthcare>

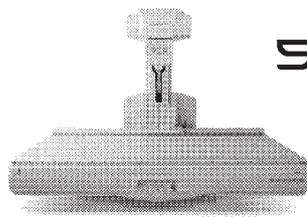


## 洗練された画質と 新たな臨床価値の提案

### 最高レベルの検査環境を求め

島津製作所が世界に誇る直接変換方式FPDにより達成した  
最大2880マトリクスの超高精細画像と、その画質を最大限に活かした  
独自のアプリケーションによる新たな臨床価値の提供。

SONIALVISION safire 17は臨床現場で今求められている、  
そしてこれから求められるであろうシステムへの期待をとらえた  
島津からの提案です。



X線テレビシステム  
**SONIALVISION**  
*safire17*  
【ソニアルビジョンサファイア】

製造販売認証番号:220ABBZX00261000

株式会社島津製作所 医用機器事業部 604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL (075) 823-1271 [www.med.shimadzu.co.jp](http://www.med.shimadzu.co.jp)

GE Healthcare

## Healthcare Re-imagined.

より早く、正確に。想像力の先にひろがるEarly Health。

想像を、実像に。いよいよその時がやってきました。

診療の原点を見つめ、私たちが探ってきたEarly Healthの可能性は  
より具体的なアイデアを包み込んだ種子となり、あらゆる分野へ飛び立とうとしています。

患者さまのために、利用される皆さまのために、さらにはすべての人が  
よりよい診療サービスをいち早く享受するために、画像診断技術はいかにあるべきか？

診療世界の次の10年を、より実りあるものとするために、  
これまで超えられなかった壁を軽やかに飛び越え、理想形へと着床します。

Re-imagine・・・それは、診療のよりよい未来に、答えを出しつづけること。

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021  
[www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)



GE imagination at work



私たちが、造影剤領域におけるジェネリック医薬品のリーディングカンパニーを目指します。

今日と明日のベストパートナー。



非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液

処方せん医薬品<sup>(注)</sup> 薬価基準収載

**オイパロミン<sup>®</sup> 注**  
**150 / 300 / 370 /**  
**300 シリンジ / 370 シリンジ**

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液

処方せん医薬品<sup>(注)</sup> 薬価基準収載

**イオパーク<sup>®</sup> 注**  
**300 / 350 / 240 シリンジ /**  
**300 シリンジ / 350 シリンジ**

MRI用造影剤 ガドペンテト酸ジメグルミン注射液

処方せん医薬品<sup>(注)</sup> 薬価基準収載

**ガドペンテト酸メグルミン 静注液**  
**37.14% シリンジ [F]**  
**5mL / 10mL / 13mL / 15mL / 20mL**

注)：注意—医師等の処方せんにより使用すること。

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

ひとりひとりの笑顔に込めたい。



**富士製薬工業株式会社**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番19号  
<http://www.fujipharma.jp>

2009年4月作成

**iNtuition**

画像診断は今、新領域へ。  
「インテュイション」到来。



画像診断ワークフローの革新的アーキテクチャ

「Aquarius iNtuition (インテュイション)」は、画像データ発生時から読影までをひとつの流れとしてとらえ、カスタマイズ可能な柔軟性を備えた画像処理診断のワークフローを実現する、画期的なアーキテクチャ。既存のAquarius製品をコンポーネントにシームレスにワークフローを構築。さらに、画像処理におけるルーティンワークを自動的に実行する事前処理サーバAquariusAPSにより、画像処理時間の短縮化を実現。画像診断業務の向上に貢献します。

**Aquarius APS Server**

ルーティンワークの負担を軽減する自動前処理サーバ

**Aquarius Net Station**

画像配信機能付高機能ワークステーション

**Aquarius iNtuition**

**Aquarius NET Server**

ストレスフリーな3D画像院内外配信ソリューション

**Aquarius NAS Server**

ボリュームデータの新マネージメントサーバ

**株式会社 エルクコーポレーション**



営業統括本部

大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル9階 ☎(06)6942-0691  
 東京都文京区湯島2丁目17番4号 ☎(03)3814-8229

URL <http://www.elkc.co.jp>

●商品に関するお問い合わせは下記まで

札幌(011)736-0010・仙台(022)236-3621・新潟(025)243-6391・さいたま(048)663-2221  
 東京第一(03)3814-7851・東京第二(03)3814-7850・横浜(045)474-6661・名古屋(052)531-6231  
 金沢(076)237-7511・京都(075)691-5101・大阪第一(06)6382-3787・大阪第二(06)6382-8701  
 神戸(078)651-2601・岡山(086)232-6721・広島(082)232-1341・福岡(092)472-0241  
 鹿児島(099)266-3141

開発製造元: TERARECON, INC. 日本支店: 東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー1F

薬価基準収載

# 消化管の診断に

処方せん医薬品

X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

ネオバルギンEHD

ネオバルギンUHD

ネオバルギンHD

バリトッパHD

バリブライトP

バリブライトCL

バリコンクMX

◇ゾル製剤

バムスターS200

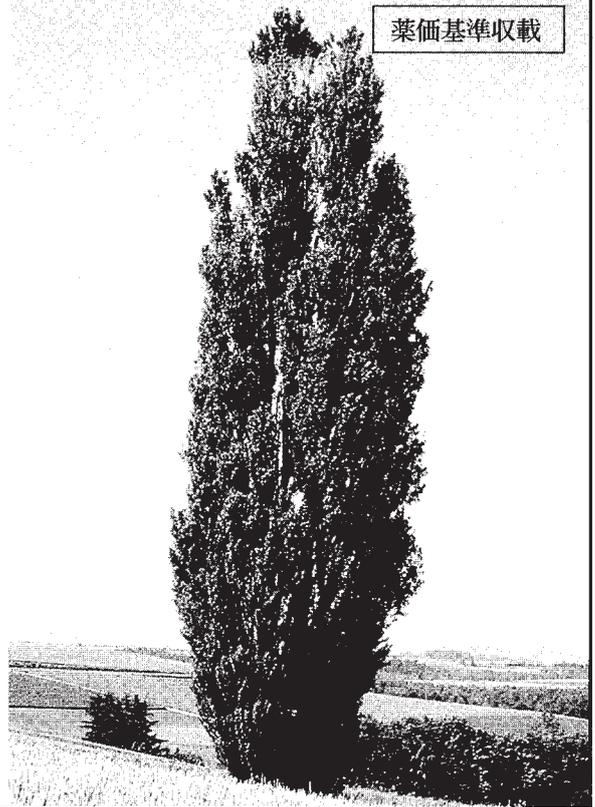
バリトッパ120

バリトッパゾル150

バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



発売元



株式会社 **カイゲン**

大阪市中央区道修町2-5-14 [資料請求先 新薬本部]

<http://www.kaigen.co.jp>

薬価基準収載

指定医薬品・処方せん医薬品\*

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

MRI用造影剤(ガドベンテ酸ジメグルミン注射液)

## マグネビスト®

## マグネビスト®シリンジ

## Magnevist®

■効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。

■警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

日本シエーリング株式会社は、2007年7月1日より、新たにバイエル薬品株式会社としてスタートいたしました。

資料請求先

バイエル薬品株式会社

大阪市淀川区宮原3-5-36 〒532-8577

<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare

Bayer Schering Pharma

MAG-07-0610

(2007年7月作成)

# コンパクトなボディに高性能かつ 高速処理を凝縮したCRシステム

102枚/時(大角サイズ)のCR Eliteと77枚/時(大角サイズ)のCR Classicの2機種をご用意。臨床現場のさらなるワークフローの向上を実現します。

## 最先端の 画像処理技術を搭載

- 周波数帯域に応じた画像処理
- じん肺、マンモグラフィ対応
- マルチセグメンテーション機能



通常の処理(左右の線量差10倍)



マルチセグメンテーション機能の処理  
(左右の線量差10倍)



Carestream   
HEALTH

# KIC

株式会社  
ケー・アイ・シー・メディカルシステム

事務所

〒350-0165 埼玉県比企郡川島町中山2109-1  
TEL:049-297-5130 FAX:049-297-5961  
E-mail:shoji\_0207@ybb.ne.jp

IMRT/SBRTのQAを  
マルチに、効果的に、効率よく。

 **SUN NUCLEAR**  
corporation

**MapCHECKファミリー**

**MapCHECK 2™**  
IMRT 検証2D測定システム  
(IMRT QAのゴールドスタンダード)

**MotionSim™**  
4D IMRT QAを可能にした  
IMRT/IGRT/SBRT専用の  
QAツール

**MapCHECKソフトウェア**

**EPIDOSE**  
高分解能・高密度で、  
お手持ちのEPIDの有効利用が可能

**MAPcalc**  
スピーディかつ正確な2D検証機能により、  
治療計画検証に要する時間を短縮



For All Your Tomorrows

# TOYO MEDIC

<http://www.toyo-medice.co.jp/> E-mail [info@toyo-medice.co.jp](mailto:info@toyo-medice.co.jp)

## 東洋メディック株式会社

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13  
TEL.(03) 3268-0021(代表) FAX(03) 3268-0264

大阪支店：〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-19-1  
TEL.(06) 6535-5741(代表) FAX(06) 6535-5745

福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40  
TEL.(092) 482-2022(代表) FAX(092) 482-2027

支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山

**Kodak**  
Licensed Product

## 日本仕様PACS

世界150カ国以上で鍛えられ、  
日本の医療現場のために徹底的にカスタマイズ。  
高評価の理由は、そこにあります。



## Kodak Carestream PACS



Carestream PACS/RS

ケアストリームヘルスは、世界150カ国以上で医療施設とお取り引きのあるグローバル企業。多種多様な医療現場から蓄積したノウハウを活用して、複数の施設を連携させる大規模なIMS (Information Management Solutions) に至るまで、先進のPACS技術をさらに進化させつづけています。

コダックヘルス事業部は、ケアストリーム株式会社へ移管しました。

### ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁通2-21-6 八丁通ビル ☎(03) 5540-2260  
札幌 ☎(011) 252-8072 名古屋 ☎(056) 1164-2755  
大阪 ☎(06) 6534-7090 福岡 ☎(092) 413-8460  
ホームページ <http://www.carestreamhealth.jp>

**Carestream**   
HEALTH

**M** The Mitaya Shop Co., Ltd.

グリッド本体の表面に特殊シートとクッション材を施した製品を開発。

### 改良型 MS-3P型 グリッド

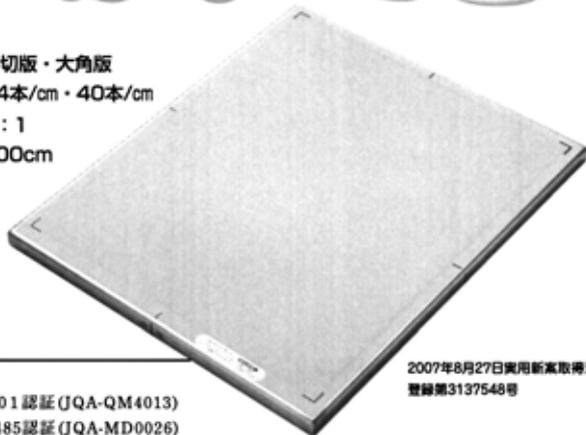
スリーピー

# かいてきくん

更なる  
機能向上を  
図りました!

#### 標準仕様:

- サイズ 半切版・大角版
- 密度 34本/cm・40本/cm
- 格子比 3:1
- 距離 100cm



ISO9001認証 (JQA-QM4013)  
ISO13485認証 (JQA-MD0026)

製造販売元: 製造販売業の許可番号: 11B3X00078

**株式会社 三田屋製作所**  
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12  
TEL.049(225)1981(代) FAX.049(225)1942

2007年8月27日実用新案取得済  
登録第3137548号



#### かいてきくん 5つのポイント

- 1 患者様の身体的苦痛の緩和
- 2 患者様の安心感の向上
- 3 患者様への挿入が容易
- 4 ポジショニングの容易性向上
- 5 洗浄のし易さ向上

総販売元:

**三田屋商事株式会社**  
〒171-0051 東京都豊島区長崎1-27-1  
TEL.03(5995)6789(代) FAX.03(5995)6788

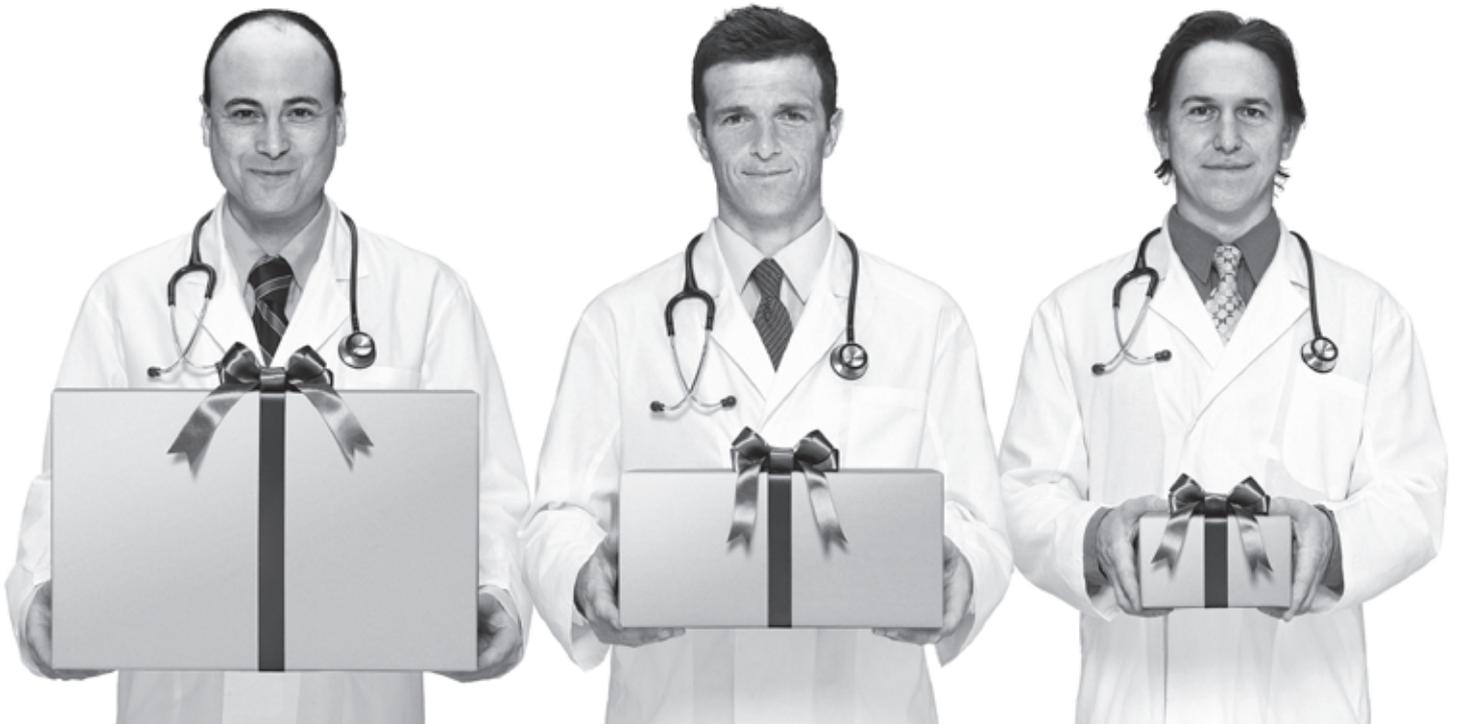
<http://www.mitaya.co.jp/>

# FUJIFILM

more than imaginable



パッケージで選べる3つのSYNAPSE



## SYNAPSEパッケージで最適なPACSを。

高画質・高機能で国内最大シェアをもつモニター運用型PACS「SYNAPSE」。その基本機能はそのままに、導入規模や運用形態にあわせて選べる3つのパッケージをラインアップしました。優れたコストパフォーマンスで、本格的なモニター運用に対応し、導入後も運用計画に沿って自在にシステムを拡張することができます。

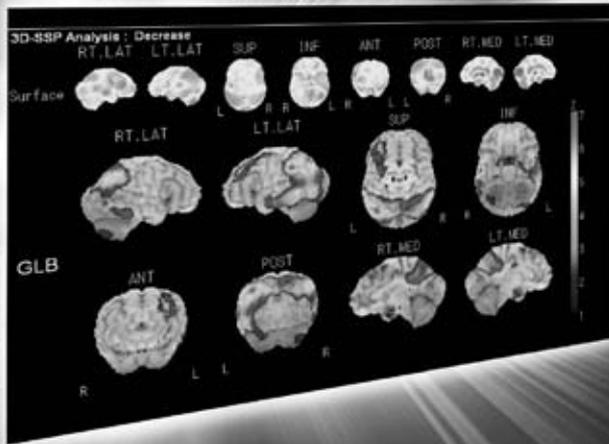
薬事販売名：  
富士画像診断ワークステーション FS-V673型  
薬事承認番号：21600BZZ00613000



# SYNAPSE EX / Lite / Mini-X

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8033(代) <http://fms.fujifilm.co.jp>

# 脳血流SPECTを 3D-SSPでみる



画像がさらに見やすく。  
読影も、患者さんやご家族への説明も、さらにスムーズに。

処方せん医薬品<sup>注)</sup>  
放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

## パービューザミン<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準塩酸N-イソプロピル-4-コードアンフェタミン<sup>(123I)</sup>注射液

処方せん医薬品<sup>注)</sup>  
放射性医薬品・局所脳血流診断薬

薬価基準収載

## セレブロテック<sup>®</sup>キット

放射性医薬品基準エキサメタジウムテクネチウム<sup>(99mTc)</sup>注射液調製用

注) 注意— 医師等の処方せんにより使用すること  
®:登録商標

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は  
添付文書をご参照ください。

資料請求先

 日本メジフィジクス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号  
http://www.nmp.co.jp

製品に関するお問い合わせ先

☎ 0120-076941

2009年6月改訂

薬価基準収載

HORII PHARM.IND.,LTD.

# 胃X線検査関連製品ラインアップ



硫酸バリウムX線造影剤

発泡剤

消泡剤

緩下剤

硫酸バリウムX線造影剤

処方せん医薬品

確実な存在診断

High Density

**バリコンミール<sup>®</sup>**

的確な鑑別診断

Semi High Density

**バロスパース<sup>®</sup>W**

X線二重造影用発泡剤

処方せん医薬品

**バロス発泡顆粒**

胃・腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481 (代) FAX 06-6942-1505

(資料請求先: 安全性情報部)

http://www.horii-pharm.co.jp

☎ 0120-010-320

消泡剤

**バロス消泡内用液2%** ジメチコン内用液

※禁忌、効能・効果、用法、使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

2008年11月作成I

# 食道から大腸まで

適確診断のために……

## 薬価基準収載

処方せん医薬品 注意-医師等の処方せんにより使用すること

### 【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

**バリテスター<sup>®</sup> A240散**

**バリトゲン<sup>®</sup> SHD**

■ 注腸用X線造影剤

**エネマスター<sup>®</sup> 注腸散**

■ X線CT用経口消化管造影剤

**バリトゲン<sup>®</sup> CT**

■ 消化管X線造影剤

**バリトゲン<sup>®</sup> HD**

**バリトゲン<sup>®</sup> ザル145**

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

**バリトゲン<sup>®</sup>**

**バリトゲン<sup>®</sup> ザル**

■ X線診断二重造影用発泡剤

**バリトゲン<sup>®</sup>-デラックス**

**ウムブラ<sup>®</sup> MD**

**バリエース<sup>®</sup> 発泡顆粒**

■ 胃内有泡性粘液除去剤

**バリトゲン<sup>®</sup> 消泡内用液 2%**

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

**ファースル<sup>®</sup>-錠 2.5mg**

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

**FSK 伏見製薬株式会社** ●資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801 名古屋営業所 / TEL 052-732-8555  
大阪営業所 / TEL 06-6221-5101 中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

指定医薬品

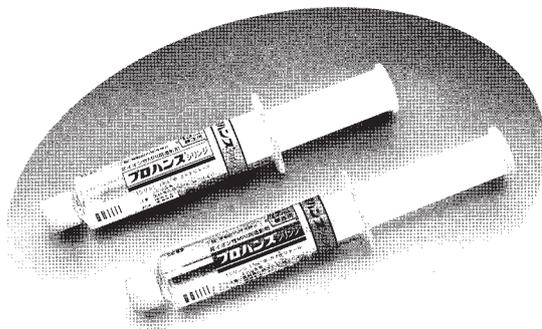
処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

**プロハンス<sup>®</sup> 注**

〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance<sup>®</sup> INJECTION**

内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL



指定医薬品

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

**プロハンス<sup>®</sup> シリンジ**

〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance<sup>®</sup> Syringe**

内容量：13mL, 17mL

製造販売元



ブラッコ・エーザイ株式会社  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元



エーザイ株式会社  
〒112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10  
<http://www.eisai.co.jp>

提携先



ブラッコ インターナショナル

PR 0504-2 2005年4月作成

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎ 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

こらむ  $\sqrt{X}$

*Ich fand durch Zufall daß die Strahlen durch  
das Schwarze Papier drängen.*

◀ 私は 偶然に 黒い紙を突き抜ける 放射線を見つけた。 ▶

レントゲン博士の衝撃的な発見から110年余過ぎました。

- ❑数ヶ月後、レントゲン博士とは面識のない丸茂文良醫學士は、◀レントゲン氏の所謂X光線?の「デモンストラチオン」▶の講義と実験を行いました。
- ❑X線発見から放射線の探究は、 $\gamma$ 線や中性子、素粒子への解明に引き継がれました。
- ❑丸茂実験を始め、放射線障害の分析は、放射線治療と法整備に反映されました。
  
- ❑日本放射線防禦(株)は、昭和26年から放射線施設の設計や建築、周辺設備に関わり、全国多数の医療機関と協働して、臨床機能の充実を目標に施工、貢献できました。

column

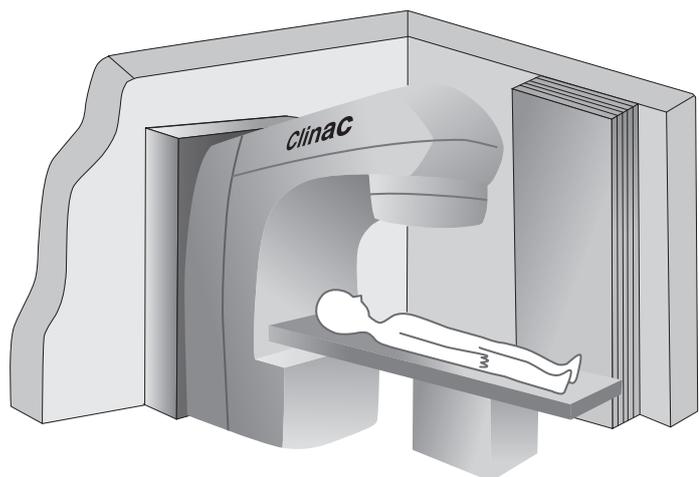
## 放射線・MRI施設等の設計、施工

- リニアック、CT・MRI・RI検査室建造など
- 鉛、RC等の放射線遮へい工事
- 電波・磁気シールド工事
- 空調、電気、給排水設備工事
- 医療法、電離則に基づく法定測定
- 病院経営に関するコンサルタント業務

### 最近の施工施設 (埼玉県内のみ)

獨協医大越谷病院  
埼玉医大総合医療センター  
北里メディカルセンター病院  
埼玉県立がんセンター  
戸田中央総合病院

など多数 



日本放射線防禦株式会社

国土交通大臣許可 (特-18) 第21807号  
一級建築士事務所 東京都知事登録 第55842号

東京支店 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目38番12号 TEL03-3811-1158・FAX03-3811-1046  
本社 / 〒590-0023 堺市堺区南三国ヶ丘町1丁目5番11号 TEL072-232-0741・FAX072-223-7393  
名古屋支店 / 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目32番26号602 TEL052-269-9130・FAX052-269-9133

## 個人被ばく線量測定 クイクセルバッジ サービス

(平成22年4月よりサービス開始)

- ◆ラベルの表記がリニューアルされ、見やすくなりました。
- ◆バッジの形状の変更により、着用感がさらにUP。
- ◆測定原理は、ルクセルバッジと同じOSL線量計を用いています。
- ◆バッジ製造の国内化を実現し、安定供給を可能にしました。



 **長瀬ランドウア株式会社**

本社／〒300-2686 茨城県つくば市諏訪C22街区1 Tel. 029-839-3322 Fax. 029-836-8441  
大阪営業所／〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17 Tel. 06-6535-2675 Fax. 06-6541-0931  
ホームページアドレス／<http://www.nagase-landauer.co.jp>

## 一 編 集 後 記 一

昨年、たまたまカンブリア宮殿という番組を見ていて、“明確な目標を持つ”“人財が育てば企業は勝つ”（ちなみに財>材>在）“企業は永遠でなくてはならん”などの金言に興味をわき購入して読んだ本がある。大和ハウス工業会長、樋口武雄氏の半生の自叙伝といえる『熱湯経営 大組織病に勝つ』である。著者は会社のぬるま湯体質にメスをいれ、奇跡ともいえるV字回復を果たし、住宅だけでなく自動車などの開発など複合的な展開をめざしているモーレッツ経営者である。師と仰ぐ石橋オーナーとのやりとりも合わせてリーダーシップ、上司と部下の関係、改革など参考になることが多い書であった。

その中に「成功する人と失敗する人の12カ条」というのがあったので一部を紹介します。

	（成功する人	⇔	失敗する人）
人間的成長を求め続ける		⇔	現状に甘え続ける
自信と誇りを持つ		⇔	愚痴っぽく言い訳ばかり
常に明確な目標を指向		⇔	目標が漠然としている
			・
今ここに100%全力投球		⇔	どんどん先延ばしにする
			・
できる方法を考える		⇔	できない理由が先にでる
可能性に挑戦しつづける		⇔	不可能だ無理だと考える

最近、雑誌以外読まなくなった私が本の紹介をするというのも変な感じですが、とりあえず新年を迎え、皆さま今年もよろしくお願いたします。

(栗っこ)

裏表紙に掲載する風景写真を募集いたします。

なお選考は編集情報委員会に一任をお願いいたします。

また、いただいたデータは返却いたしません。

データの送信は編集情報委員会 潮田 (y-ushioda@sart.jp) までお願いいたします。

### 埼玉放射線 第211号

印刷	平成22年1月18日
発行日	平成22年1月22日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 社団法人 埼玉県放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp HP掲示板・認定者名簿パスワード ユーザー名 sart パスワード saitama
発行人	社団法人 埼玉県放射線技師会 会 長 小 川 清 編集代表 松 田 恵 雄
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

### 事 務 所

〒331-0812

さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人埼玉県放射線技師会 技師会センター

電 話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡 辺 弘

事務員 植 松 敏 江

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00



ご来光 撮影 国立障害者リハビリテーションセンター 肥沼 武司 氏

富士山 8 号目から撮影。  
雲の切れ間から見えてきた日の出直前の様子。



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
社団法人 埼玉県放射線技師会  
TEL 048-664-2728  
FAX 048-664-2733  
[www.sart.jp](http://www.sart.jp)  
[sart@beige.ocn.ne.jp](mailto:sart@beige.ocn.ne.jp)  
領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)